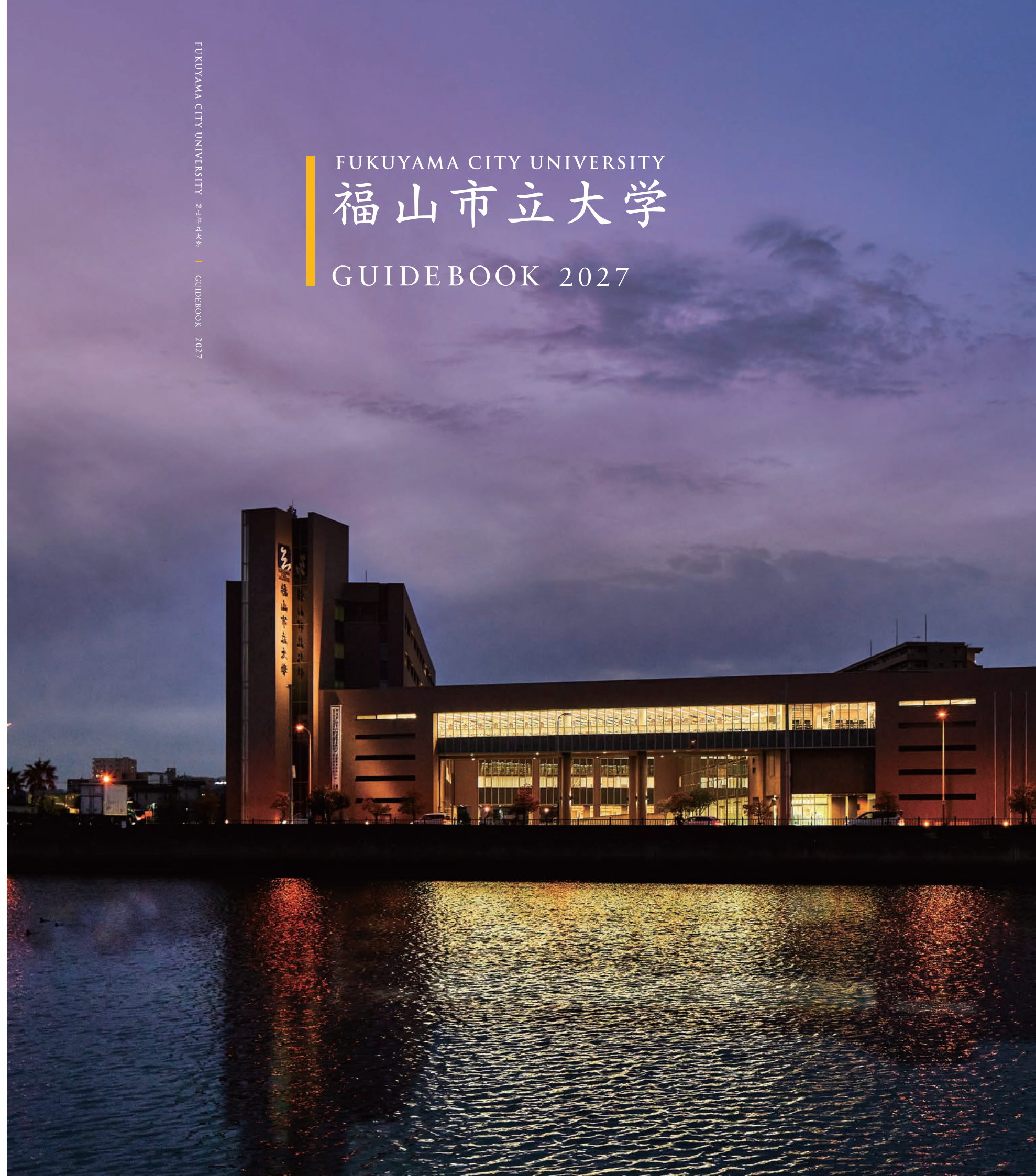


FUKUYAMA CITY UNIVERSITY 福山市立大学 | GUIDEBOOK 2027

FUKUYAMA CITY UNIVERSITY
福山市立大学
GUIDEBOOK 2027



WISDOM OPENS UP TOMORROW

知は明日を開く

福山市立大学は、地域の発展を目指して2011年(平成23年)に開学しました。

地域活性化のための「教育」と「都市経営」を学ぶ2学部からなり、

それぞれをより深く高度に探究する大学院も設置。

2027年(令和9年)には、本学初の理工系学部となる

情報工学部が新たに加わる予定です。

自治体や地域社会、地元企業の活動支援のもと

持続可能なまちづくりに寄与する人材の育成を目標に掲げ

未来につながる教育・研究に取り組んでいます。

2027年(令和9年)4月開設予定の情報工学部
については、別冊の情報工学部 学部案内2027
をご覧ください。

情報工学部特設サイトは
こちらをチェック→



Contents

※ 本冊子には、2027年(令和9年)4月に開設予定の
情報工学部に関する内容は掲載されていません。

■ 巻頭企画

- 03-04 卒業生メッセージ
- 05 教育の特色、ゼミナール
- 06 国際交流

- 07 大学の使命・理念・目標
- 08 学長メッセージ
- 09-10 共通教育

■ 学部・学科

- 11-18 教育学部
- 19-26 都市経営学部

■ 就職支援・学生サポート

- 27-28 就職サポート
- 29 取得できる免許・資格、大学院
- 30 就職・進路データ

■ キャンパスライフ

- 31-32 キャンパスカレンダー
- 33-34 キャンパスマップ
- 35-36 クラブ・サークル紹介
- 37-38 福山市紹介

■ その他

- 39 地域連携について
- 39-40 アクセスガイド
- 41-42 在学生情報・学費・奨学金
- 43-44 入学者受入方針／学位授与方針など
- 45-46 入試情報／校章・大学歌

福山市との連携で実践機会に
恵まれた環境が良かったです。

窪田 伸二さん

教育学部児童教育学科 教育コース

2018年卒業

就職先：広島県 公立小学校



● 福山市立大学で身についた力

実践力が身につきました。2 年次から実地体験活動として市内の小学校に訪問させてもらい、現場の雰囲気や先生の仕事、子どもの実態などと触れる機会が多く、実習前から経験をたくさん積むことができました。また、大学の先生と一緒に体験活動の振り返りをしてくださり、深い学びにつながりました。

● 現在の職場で生かしている力

様々な学校の、様々な先生方の指導方法や、子どもへの声のかけ方などを学ぶことができたので、子どものことを考えた指導につながっていると感じています。子ども一人ひとりの思いを正面から聞き、アドバイスをしたり、一緒に悩んだりすることで、少しでも子どもの力になればいいなと思いながら指導しています。

保育士の経験がある先生には
卒業後もお世話になっています。

平戸木 早織さん

教育学部児童教育学科 保育コース

2018年卒業

就職先：福山市公立保育所



● 福山市立大学で身についた力

保育士になるために 4 年制大学に進学したメリットの一つは卒業論文に取り組めたことです。入学時には想像すらしていませんでしたが、音楽ゼミに所属し、テーマに沿っていろいろ調べ、深く研究できました。その学びと経験は今も役に立っています。

● 現在の職場で生かしている力

ピアノは得意ではなかったのですが、公務員試験対策の一環として指導を受け、学生に開放されているピアノ練習室を使って上達することができました。表現の授業で身につけた手遊びなどの技術や知識も、実際の現場でしっかり活用しています。

フィールドワークを通じて
大学でたくましくなりました。

大頭 理華子さん

都市経営学部都市経営学科

2020年卒業

就職先：福山市役所



● 福山市立大学で身についた力

起業ゼミで経営モデルを探究しました。多くの起業家や社会人の方から実践に即した授業を受けられ、挑戦する力が身についたと思います。実際に作成したビジネスプランを二つのコンテストに応募し、その結果、両方とも最高賞をいただきました。

● 現在の職場で生かしている力

所属長の勧めで、中学生の夢を支援するコンテストの実行委員を務めたことがあります。一次審査を通過した中学生 1 人と共に最終審査通過を目指して、大学在学中に培ったプレゼン方法などを提案。応募約 600 人中 4 人の支援対象に選ばれました。

教育の特色

4学期制による効果的な学び

福山市立大学では、1年間を4学期に分け、1学期の授業期間を8週とする「4学期(クォーター)制」を採用しています。多くの大学が採用する2学期制では週に1回の授業を15週にわたって実施しているのに対し、本学の4学期制では、同じ授業を週に2回実施するため、短期間に集中して履修でき、高い学習効果が期待できます。さらに、夏季・春季休業中に集中講義を設けるなど、学期間外でも学習意欲が低下することなく、充実した学生生活を送るサポート体制を整えています。

少人数授業の充実

1年次から4年次まで、各年次で少人数ゼミ教育を実施。担当教員や仲間との対話を通じて、基礎の習得から専門的内容まで段階を踏んだ学習を進めていきます。ゼミでは、テーマを立てて取り組む調査、分析、報告、議論などを通じて、企画力や実践力、探究的な能力を養います。



体験型・参加型授業の充実

教室で学んだ知識は、現場での体験を通じて、いっそう深く理解することができます。福山市立大学では、文化と産業、自然と歴史の共存する瀬戸内海地域をフィールドとして、実践や体験、活動への参加を通して、地域の実情や課題を学んでいます。



高い英語能力の育成

土日祝日でも使える最新の学内設備や自宅からもアクセスして自学自習できるCALL(e-learning)教材に加え、ネイティブによる英語コミュニケーションとプレゼンテーションの指導や、TOEIC試験などを活用して、現代社会に必要な高い英語活用能力を養います。



ゼミナール

大学入門ゼミ、教育入門ゼミ(教育学部)

1年次の1・2学期に開講される「大学入門ゼミ」は、大学での学習や研究に取り組む際に必要なアカデミック・スキルを、少人数の「ゼミ」と呼ばれる集団の中で学びます。そこでは、個々の学生が「調べたいこと」「考えたいこと」を仲間と共に追求し、深め、発表するという体験をします。また、3・4学期には「教育入門ゼミ」へと移行し、「大学入門ゼミ」での学びを踏まえて教育・保育に関するテーマを探究し、成果を発表することでさらに教育・保育への理解を深めます。これらの授業は、2年次以降にそれぞれの専門分野を深めていくゼミ選択や実習、卒業研究へとつながる基礎的で実践的な科目として位置づけています。

●時間割例 教育学部(1年次・1学期)の例

	月	火	水	木	金
1時限	自然誌概論(1)	入門中国語I(1)	健康スポーツI(1)	自然誌概論(2)	データサイエンス基礎I(1)
2時限		児童教育学概論(1)			児童教育学概論(2)
3時限	総合英語I(1)				
4時限	大学入門ゼミ(1)	心理学(1)			心理学(2)
5時限					

(注)科目名の末尾の(1)は、1週間でのその科目の開催回数

大学入門ゼミⅠ・Ⅱ、都市経営ゼミ(都市経営学部)

1年次の入学直後に開講される「大学入門ゼミⅠ」は、講義やグループワークを通じて、同級生や在学生、教員との交流を深めると共に、大学生としての在り方を学びます。3・4学期からは「大学入門ゼミⅡ」へ移行し、大学4年間で求められる問題解決能力を身につけるため、「主体的に学ぶ」をキーワードに、「クリティカルシンキング」と「ロジカルライティング」を学びます。2年次に開講される「都市経営ゼミ」では、都市経営に関わる共通テーマについて、4つの専門領域(環境、計画・デザイン、経済・経営、共生・開発)それぞれがどのような視点で当該テーマを扱うかについて講義し、これを受けて、学生自身が各専門領域の視点に基づいてグループ学習および討議や発表を行うことにより、3年次以降の専門的な学習・研究へのモチベーションを養います。

国際交流

福山市立大学では、福山市にゆかりのある国や地域の大学、大学の理念や使命を共有する海外大学を中心に、国際交流を展開しています。

下記の学生交流協定校以外にも、ソノマ州立大学(アメリカ合衆国)、クレルモン・オーヴェルニュ大学(フランス共和国)、西南大学(中華人民共和国)、首都師範大学(中華人民共和国)、ランシット大学(タイ王国)などとも国際交流に関する協定を締結し、交流を深めています。

※最新情報は大学ホームページの「国際交流協定校一覧」からご確認ください。
(<https://www.fcu.ac.jp/contribution/international/partner.html>)

主な学生交流協定校

アラスカ大学 フェアバンクス校 (2010年3月3日 協定締結)

本学は、2010年3月にアラスカ大学フェアバンクス校(University of Alaska, Fairbanks)との交流協定を締結しました。アラスカ大学フェアバンクス校は、1917年に設立された「アラスカ農鉱業専門学校(The Alaska Agricultural College and School of Mines)」を前身とした、アラスカで最も古い州立大学であるアラスカ大学のメインキャンパスです。本学の短期海外研修である「環境開発実習」の実習先になっており、例年7月には、本学の学生が、アラスカの自然や歴史、文化などについて学ぶために同キャンパスを訪問して交流を深めています。



マレーシアイスラム科学大学 (2024年2月22日 協定締結)

本学は2024年2月に、マレーシアイスラム科学大学(USIM)との交流協定を締結しました。USIMは、国際色豊かな総合大学で、USIMの85のアカデミックプログラムには、科学分野をはじめ、経済学、言語学、工学・環境デザイン学など、幅広い学問領域が揃っています。2024年8月には、本学の学生たちが「海外語学研修」の一環として、USIMの広大なキャンパスで「English Language & Cultural Immersion Camp」と題した集中講義を受講しました。この研修では、英語コミュニケーションのスキル向上だけでなく、マレーシアの文化や生活についても学びます。さらに、USIMの学生パディとともにフィールドワークを行い、交流を深める貴重な経験を得ています。



南京曉莊学院幼児師範学院 (2018年5月18日 協定締結)

本学教育学部は、2018年5月に中華人民共和国の南京曉莊学院幼児師範学院との交流協定を締結しました。同年6月には、本学教職員が南京曉莊学院幼児師範学院を公式訪問し、両大学の発展につながる共同研究や学生研修など連携事業の実現に向けて話し合いを行いました。今後、両大学を相互に訪問しての学生短期研修など計画されており、世界的な視野で就学前保育から教育を考える体験的学習の貴重な機会となり、教員養成および保育・教育研究の進展に大きく貢献することが期待されます。



ソルボンヌ大学教職大学院 (2024年3月6日 協定締結)

ソルボンヌ大学の歴史は1257年に遡り、フランスを代表する大学の一つで、その人文科学部が有するINSPE(Institut National Supérieur du Professorat et de l'Education; 教職大学院に相当)と本学は、それまでの教員交流を発展させ、2024年3月に交流協定を結びました。共同シンポジウム等教員の研究・教育交流の他、現地の授業参加、INSPEの実習校(保育学校・小学校他)における交流などを組み込んだ学生短期研修を、2024・2025年に行いました。



大学の使命・理念・目標

MISSION / PHILOSOPHY / GOALS

大学の使命

急速に変化する社会にあって、大学の使命は、絶えざる知的創造活動を通して社会の持続的な発展を支える人材を育成し、時代の要請に応える新しい学問を創造していくことにあります。そこで、福山市立大学は、右の3点を大学の使命とします。

社会的課題の解決に向けて、地域社会と連携した実践的で学際的な学術研究を推進し、新しい学問を創出すること。

知の伝達

福山市の公立大学として、持続可能な地域社会の発展に寄与する人材を育成すること。

知

知の創造

知の発信

地域に開かれた教育研究拠点として、地域の文化の向上に貢献するとともに、国際化時代に相応しい地域社会の実現に貢献すること。

教育研究の理念

福山市立大学は、大学の使命を達成していくため、右の理念のもとに教育研究を推進していきます。

個別の専門領域だけで対応することが困難な現代社会の諸課題に対して、学際的な教育研究を進め、専門分野の融合による新しい「知」の創出を目指します。

持続可能な社会の
発展を担う
人材の育成

幅広い視野や豊かな人間性を涵養する中で、環境との調和、他者との共生を基本とした持続可能な社会の発展の実現に向けて、自ら課題を発見し、創造的に解決することができる人材を養成します。

究

学際的な
教育研究による
新しい学問の創造

開かれた教育
研究拠点としての
地域社会への貢献

公立大学の利点を生かし、地域の保育所、学校、施設などと連携し、地域に根ざした実践的な教育研究を進め、地域の教育力の向上を目指します。産業界や行政機関などとの連携を進め、「福山市のシンクタンク」機能を担うとともに、地域住民に生涯学習などの機会を提供し、地域の文化の向上に寄与します。

人材育成の目標

福山市立大学は、大学の使命と教育研究の理念に基づき、持続可能な地域社会の発展に寄与する人材を育成することを目標とします。具体的には、社会人として必要な右のような資質・能力をもった人材を育成します。

複合的・総合的な視野に立って専門性を深め、新しい時代に求められる価値観を構想し創造する力を備えた人材を育成する。

幅広い視野と
豊かな人間性を
備えた人材

グローバルな視野、多元的な視点でものごとを捉える力、高いコミュニケーション力とともに豊かな人間性を備えた人材を育成する。

人

構想力や
創造力を
備えた人材

実践力を
備えた人材

課題の解決に向けて、多様な他者と協働してプロジェクトに取り組み、主体的かつ継続的に実行する実践力を備えた人材を育成する。

学長メッセージ

MESSAGE

先行きの見えない時代をどう生き抜くか

2027年は福山市立大学の新たな飛躍の年です。教育と保育の各コースを併せ持つ教育学部、文理融合による全国唯一の都市経営学部が続いて、高度なデジタル人材を育てる情報工学部がスタートします。

21世紀も四半を過ぎた今なお、世界は各地で戦争や紛争が絶えません。一方、人工知能（AI）の凄まじい進歩によって私たちの生活や環境も大きな変化を余儀なくされています。先行きの見えない時代を生き抜くためには、情報をしっかりと見極め、自ら考えて行動することが大切です。本学は、授業だけでなく、提携している海外大学や企業での多様な学びの場を提供します。

福山市立大学は開学17年目の若い大学ですが、源流の福山女子短期大学から数えれば、60年余りにわたって地域とともに歩んできました。学生の皆さんと手を携えながら、備後地域の明日、さらには日本と世界の未来を切り拓いてまいりたいと願っています。



福山市立大学 学長
佐藤 利行
Toshiyuki Sato

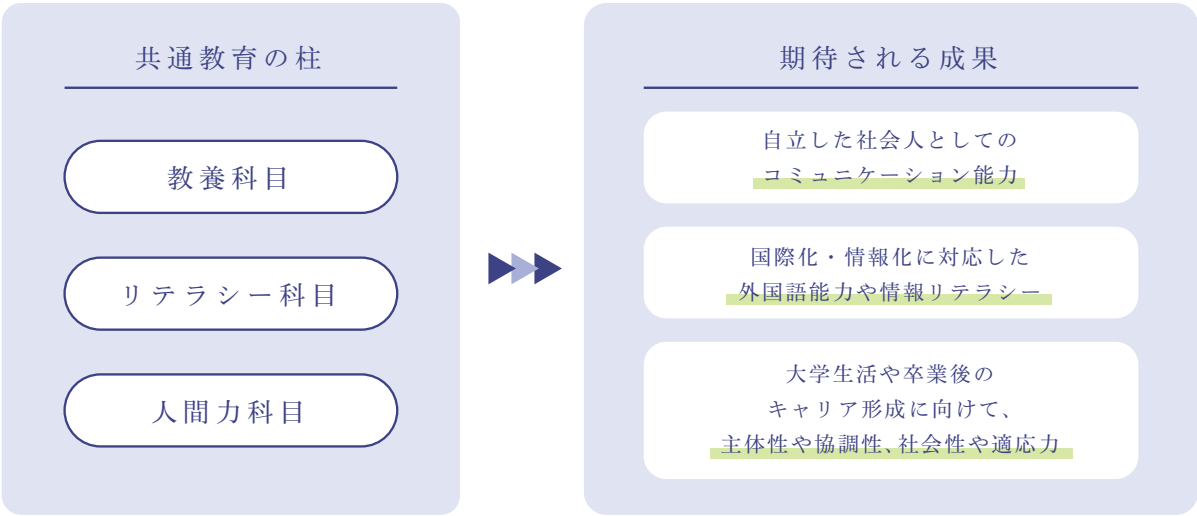
沿革

2006年（平成18年）	4月	大学設置準備室設置
2008年（平成20年）	5月	大学設置準備委員会設置
2009年（平成21年）	9月	大学の名称が「福山市立大学」に決定
2011年（平成23年）	4月	福山市立大学開学 学部第1期生が入学
2015年（平成27年）	3月	学部第1期生が卒業
	4月	大学院を設置 大学院修士課程第1期生が入学
2019年（平成31年）	4月	福山市立大学大学歌 Road To The Future を制定
2021年（令和3年）	4月	公立大学法人に移行
2024年（令和6年）	3月	新学部設置基本構想策定
	4月	新学部設置準備委員会設置
	9月	小松安弘記念館供用開始
	9月	新棟整備基本計画策定

共通教育



共通教育科目は、全学部に通じる科目です。幅広い分野の知識や考え方を学び、教養を身につけ、視野を広げるとともに、自立した社会人として必要なコミュニケーション能力、国際化や情報化に対応した外国語能力や情報リテラシー、大学生活や卒業後のキャリア形成に向けて主体性や協調性、社会性や適応力などを身につけていきます。



カリキュラムは一部変更する場合があります

教養科目

人間の歴史や文化、社会や経済の成り立ち、環境と人間の関わり、情報と社会の変化、福山市をはじめとした近隣地域等について、幅広く学ぶことによって、教養を培い、グローバルな視野や多元的な視点で物事をとらえる力の基盤を養います。



自然誌実習

- 人間と文化

「哲学」「心理学」
「社会心理学」「社会思想史」
「ダイバーシティ概論」
「美術史」「教育学」「文学」

社会と経済

「法学概論」「日本国憲法」
「現代の経済」「現代の経営」
「会計学概論」「国際関係史」
「科学技術社会論」「社会調査法」

環境と生活

「環境と物理」「環境と化学」
「環境と生物」「自然誌概論」
「森林資源学」「環境科学実験」
「フィールド情報学」
- 情報と社会

「数理の世界」「統計の世界」
「人工知能の世界」
「プログラミング思考」
「AIシステム開発」
「デジタルシチズンシップ」
「サイバーセキュリティ概論」
「STEMとものづくり」

地域学

「福山学A～C」
「瀬戸内の歴史と文化」
「平和学」

リテラシー科目

グローバル化する社会で、多様な他者や異文化を尊重していくための基礎となる外国語科目と、高度化する情報化社会で、社会生活や職業生活を送るうえで必要な情報リテラシーやIT活用能力を養うデータサイエンス科目で構成されます。



上級英語I・II

- 外国語(英語)

「総合英語I・II」
「英語コミュニケーションA・B」
「ビジネス英語I～III」
「上級英語I・II」

外国語(中国語)

「入門中国語I・II」
「初級中国語I・II」
「中級中国語I・II」
- 外国語(他言語)

「フランス語I～III」
「韓国語I・II」

データサイエンス

「データサイエンス基礎I・II」
「情報応用演習I・II」



本学は、文部科学省の「数値・データサイエンス・A I 教育プログラム認定制度 (リテラシーレベル)」に2024年(令和6年)8月27日付けで認定されました。認定の有効期限は2029年(令和11年)3月31日までです。

人間力科目

自立した社会人・職業人に求められる資質や能力を「人間力」として位置づけ、キャリアデザイン、体育・健康、入門ゼミの3科目で構成しています。大学生活や卒業後のキャリア形成に向けて、主体性や協調性、社会性や適応力などを養います。



健康・スポーツIIC(スキー)

- 体育・健康

「健康・スポーツI」
「健康・スポーツIIA(フィットネス)」
「健康・スポーツIIA(ダンス)」
「健康・スポーツIIA(ヨガ)」
「健康・スポーツIIB(二上りおどり)」
「健康・スポーツIIC(スキー)」
「健康科学」
- キャリアデザイン

「キャリアデザインA・B」

入門ゼミ

「大学入門ゼミ(教育学部)」
「大学入門ゼミI・II(都市経営学部)」
「教育入門ゼミ(教育学部)」

教育学部 児童教育学科



教育学部児童教育学科の学びの特徴

近年、保育所・幼稚園の保育環境から小学校の学習環境への学びを円滑につなぐ、「保・幼・小連携」が教育における一つの課題と認識されています。福山市でも保・幼・小連携が進められる中、教育学部児童教育学科は、地域に貢献できる教育者・保育者を養成するために、乳児期から児童期までの成長・発達について総合的な学びを展開しています。

児童教育学科では小学校教諭・特別支援学校教諭を目指す「教育コース」、幼稚園教諭・保育士を目指す「保育コース」を設定していますが、取得する免許状に関係した科目以外は、両コースの学生全員が受講する共通科目として開設している点が特徴です。

また、教員養成課程・保育士養成課程で必要とされる教育実習・保育実習に加え、子どもたちと触れ合い、実践的に学ぶ「実地体験活動」を設定していることも本学科のポイントです。学内に併設する教育支援センター（15 ページ参照）が窓口となり、福山市、福山市教育委員会や広島県教育委員会の協力のもと、地域の小学校や保育所などで現場を体験する機会を提供しています。このように子どもたちの発達を幅広くより深く理解し、貴重な体験を積み、自身で学びを進め、成長できる環境を整えています。

教育学部児童教育学科の概念図



身につく力

保育と教育の連続性を重視しつつ、教育・保育系、心理系、障害・福祉系、内容系の 4 つの専門分野からなる統合的な教育指導体制を構築。分野や領域を超えた連携のもとで、保護者や教育機関のニーズに応えられる専門性と実践的な知識・技能を習得します。

教育学部児童教育学科の理念

私たちを取り巻く環境は、少子高齢化や情報化、国際化などの影響により、大きな変化にさらされており、人々の意識も価値観も多様化しています。地域や教育現場が抱える子育てや教育の課題も、複雑化・高度化する一方です。福山市においては、多様な子育てニーズや不登校・いじめ問題、学力形成などへの対応、自閉症スペクトラム、学習障害、注意欠如・多動症といった発達障害に対する教育支援などが課題となっています。これらの問題に取り組むためには、幼稚園・保育所といった就学前施設、小・中・高等学校の教育機関、家庭、地域、療育センターなどの関係施設が、教育や保育の領域を超え、密接に連携して教育・保育実践に取り組み、社会全体の教育力を高めることが重要になります。こうした状況を踏まえて、新たな高等教育機関として福山市立大学は教育学部児童教育学科を設置するに至りました。地域の未来を担う子どもの成長や学び、発達や障害を総合的にとらえ、変化する子育てや教育の環境に対応できる高い専門性と実践的指導力を兼ね備え、家庭や地域と連携して支援できる教育者・保育者を地域で育成することを目指します。

求める学生像

- 教育者や保育者を目指す強い意志と熱意を持ち、そのために必要な基礎的な学力を備え、自らの人間性や力量を高めていく意欲のある人
- 子どもたちの成長や発達に関わることに使命感を持ち、子どもたちの未来のために働くことにやりがいや生きがいを感じることもできる人
- 子育てに関わる地域の多様な人々とのコミュニケーションを図り、地域の人々と連携し協力しながら教育・保育現場の課題に熱意を持って取り組んでいくことのできる人

「保・幼・小連携」を念頭に、乳児期から児童期までの成長・発達を総合的に学びます。

コース別の教育目標

教育学部児童教育学科には、「教育コース」「保育コース」の 2 つのコースを設置しています。教育課程は両コースで共通としますが、取得可能な免許状・資格に特化した科目についてのみ、コースに分かれて学修する体制を整えています。教育コースでは小学校教諭一種免許状に加えて、幼稚園教諭一種免許状または知的障害者に関する教育の領域、肢体不自由者に関する教育の領域、病弱者に関する教育の領域の 3 つに対応した特別支援学校教諭一種免許状の取得が可能となるカリキュラムを編成しています。保育コースでは、保育士資格に加えて、幼稚園教諭一種免許状の取得を目指した学習を展開します。

教育コースの特徴

地域の初等教育の現場を担う高い専門性と実践的な指導力を備えた学校教員としての基礎・基本となる資質能力を養います。小学校教諭の養成を主眼に就学後の子どもの教育に対する理解を深めるため教育学、心理学、特別支援教育学、教育内容研究などを主な教育研究分野とします。

●取得できる免許・資格

- ・小学校教諭一種免許状
- ・幼稚園教諭一種免許状
- ・特別支援学校教諭一種免許状
(知的障害者に関する教育の領域) (肢体不自由者に関する教育の領域)
(病弱者に関する教育の領域)

●目指せる進路

- ・小学校教諭
- ・児童・障害者福祉施設職員
- ・特別支援学校教諭
- ・子育て相談員
- ・幼稚園教諭
- ・各種子ども関連企業 など

保育コースの特徴

保育士の養成を主眼としながら、乳児期から就学前の子どもの保育に対する理解を深めるため、保育学、発達臨床、児童福祉、保育内容研究などを主な教育研究分野とします。具体的には保育の原理、保育の歴史、保育の制度、幼児・児童・青年の発達などが主な教育研究内容です。

●取得できる免許・資格

- ・保育士資格
- ・幼稚園教諭一種免許状

●目指せる進路

- ・保育士
- ・子育て相談員
- ・幼稚園教諭
- ・各種子ども関連企業
- ・児童・障害者福祉施設職員 など

教育コース		保育コース			
専門教育科目	卒業研究			4 年 次 教 育 研 究 ゼ ミ	
	発展科目				
	教育史・哲学特論 教育方法・制度特論 保育・幼児教育特論 発達心理学特論 教育心理学特論 障害児臨床特論 児童福祉特論 言語・子ども文化特論 生活・社会認識特論 など(全15科目)				
	展開科目				
	特別支援教育関連科目				
	特別支援教育総論 知的障害者の心理・生理・病理 肢体不自由者の心理 病弱者の心理 障害者発達診断法 知的障害者指導論 知的障害者教育課程論 など(全15科目)				
教育学関連科目		保育学関連科目		3 年 次 教 育 専 門 ゼ ミ	
教育内容 教職論 教育原理 教育史 教育制度論 教育社会学 教育課程論 教科指導法 道徳教育論 特別活動論 教育相談 子どもと法律 など(全41科目)		子ども家庭福祉 保育原理 子どもの保健 子どもの健康と安全 子どもの食と栄養 保育内容 表現活動 保育者論 乳幼児心理学 保育臨床相談 など(全47科目)			
基幹科目					2 年 次 教 育 基 礎 ゼ ミ
発達と学習の心理学 子どもと家庭の理解 特別な支援を要する子どもの理解と教育					
学部基礎科目					
児童教育学概論 人間と教育 発達と教育 福祉と教育 文化と教育					
人間力科目				1 年 次 教 育 入 門 ゼ ミ・大 学 入 門 ゼ ミ	
〔キャリアデザイン(2科目)〕 〔体育・健康(5科目)〕 〔入門ゼミ(2科目)〕					
リテラシー科目					
〔英語(9科目)〕 〔中国語・フランス語・韓国語(11科目)〕 〔データサイエンス(4科目)〕					
教養科目					
〔人間と文化(8科目)〕 〔社会と経済(8科目)〕 〔環境と生活(7科目)〕 〔情報と社会(8科目)〕 〔地域学(5科目)〕					
共通教育科目					

各学年で履修する主な授業のポイント

1 年次

必修の学部基礎科目は、教育者・保育者を目指した専門的学習への導入科目です。教育・保育の内容を融合しつつ、その意義や基本的概念について5科目を通して幅広く学びます。

3 年次

選択必修の発展科目では、4分野の中からより深く学びたい領域を選び、専門性を高めるとともに、教職者・保育者としての課題意識や探究へのモチベーションを養います。

2 年次

選択必修の基幹科目は、発達・家族・障害の3分野を設け、教育・保育活動の理論的・実践的基礎となる専門知識を培い、基本的な課題を理解するための科目として開設します。

4 年次

必修科目の卒業研究では、1年次から3年次の授業で身につけた知識や素養をもとに、関心のある研究課題を設定し、研究に取り組み、結果をまとめて論文として発表します。

ピックアップ授業紹介



社会的養護Ⅰ

社会的養護とは、家庭で育つことのできない子どもたちのために、国が整えた保護・養育・支援を行う仕組みです。その下で保護される子どもは約4万1千人にのぼり、要因には児童虐待があります。問題を生んだ背景を学び、心にダメージを負った子どもへの保育の在り方を科学します。



心理学実験演習

心理学の実証的アプローチの基本を学びます。受講生は自ら実験者および実験参加者となって実習を行い、目的、手続き、資料の収集と分析、結果の整理から構成される、心理学研究の基本的な流れを体得すると同時に、それらを文章化してレポートにまとめます。レポート作成については、データ分析と添削の指導を受けて、執筆要領について理解を深めます。



社会科指導法

学習指導要領に定める小学校社会科の目標や学習内容に沿って模擬授業を行います。個々に学習指導案を作成したうえで授業改善の検討を行い、グループで模擬授業を実施。教育実習で必要となる実践的な知識や授業の技術を体験的に身につけ、さらに小学校教師に求められる協働性も養います。

4年間にわたる「教育ゼミ」を通した少人数指導

発達の連続性を基盤に、教育と保育を学問する教育学部児童教育学科では、「教育入門ゼミ」「教育基礎ゼミ」「教育専門ゼミ」「教育研究ゼミ」という、少人数の参加型授業を4年間にわたって開設。テーマを立てて課題意識をもって取り組む調査、分析、議論などを通して探究的な能力を身につけていきます。

●教育コースと保育コースが
共同して学び合う

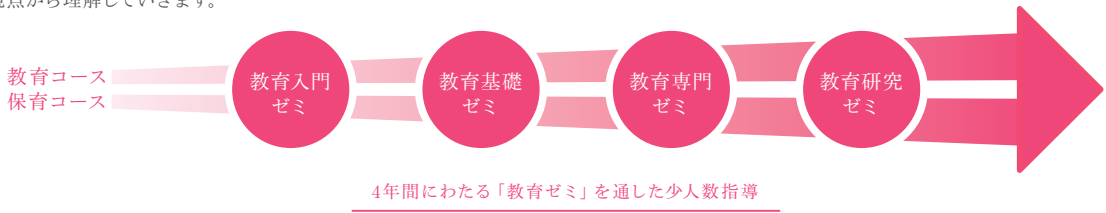
ゼミは基本的にどのクラス、系でも両コースの学生が在籍しています。共同で学び合うことを通じて、自らの関心領域を広げ・深め・表現することを学びます。取り上げるテーマは様々ですが、特に変化する現代社会にあって家庭・地域で育つ子どもたちの発達の多様性と連続性といった視点から理解していきます。

●アカデミック・スキルを使って探究

1年次の3・4学期に開講される「教育入門ゼミ」は、大学入門ゼミで学ぶアカデミック・スキルで教育・保育に関するテーマを探究し、成果を発表することで、さらに教育・保育への理解を深めていきます。

●卒業研究へ向けて理解を
深めていきます

教育・保育系、心理系、障害・福祉系、内容系に分かれ、「教育基礎ゼミ」ではテーマに関連した文献講読など、「教育専門ゼミ」では実験・観察などを含むディスカッション、「教育研究ゼミ」で研究に取り組みます。



2025年度卒業研究テーマの例

教育・保育系

- Sleeping outdoorsに関する検討
ー国際的な調査をふまえてー
- 教師と子どもの対話
ーブーバーの『我と汝』を手がかりにー
- 中世から近世における日本の子ども観の歴史的変遷

内容系

- 保育におけるスケッチブックシアターの可能性
ーオリジナルスケッチブックシアターの制作と実践を通してー
- 「書くこと」で育てるネガティブ・ケイバビリティ
ー生活綴方教育の実践記録を手がかりとしてー
- 見えない微生物の力を可視化する理科教材開発
ーパン酵母の教材化可能性ー

障害・福祉系

- インクルーシブ教育実現の観点から見た通級指導教室の在り方に関する一考察
ー担当教員へのインタビュー調査と学習指導要領の分析からー
- 現代の不良行為少年における居場所の機能と支援体制の検討
ートータルキッズを手がかりにー
- 児童自立支援施設における「家庭的な雰囲気」の現状と課題
ー小舎夫婦制児童自立支援施設Aでの調査からー

心理系

- 個別指導場面における児童の学習対応方略
ー集団参加へのジレンマがもたらす選択条件の検討ー
- 保育者の乳幼児に対する言葉かけの仕方と自己認識の変化
- 地方都市における大学生の居住地選択の意志決定構造に関する研究
ー福山市を対象としてー



それぞれの地域で貢献できる教育者・保育者を育てる

保育士・幼稚園教諭について

近年保育所は、障害のある子どもの受け入れ、中途入所や一時保育、延長保育など、子育て支援や就学前教育に関する地域の多様なニーズに応え、その質を維持・向上していくために、次のような保育者の養成が必要となっています。

- ・子育てに関する社会的な諸要素の変化に対する理解に立って、子育ての課題を具体的に把握し、実践的に取り組める保育者
- ・幅広い専門的知識と子どもの発達について深い洞察力をもち、成長の過程に関わる責任と喜びを感じ取る保育者
- ・発達を促す家族や地域、子育て支援の関係諸機関などと協力関係を構築し、リードできる保育者

このような人材需要が高まる中で、福山市では、市立保育所の保育士採用、市立幼稚園の幼稚園教諭採用において、4年制大学卒業者の占める割合が増加傾向を示しています。全国的にも同様の傾向があり、保育士および幼稚園教諭の採用において、4年制大学卒業者への需要が高まっていることがうかがえます。



教育支援センターについて

大学時代の経験は、すべて成長の糧になります。教員や保育者の養成を主眼とする教育学部では、在学中に子どもたちと触れ合う機会を可能な限り多くもってもらうために、実地体験活動を展開しています。その窓口が教育支援センターです。主な活動は、学生の教育実習・保育実習、実地体験活動を含む現場体験に関わるすべてのサポートです。実務は、元小学校校長や元幼稚園園長、元保育所所長らが特任教員として担い、情報の提供、スケジュールの調整から、学生一人ひとりの履修状況や苦手分野、自己評価などを把握したうえで的確な指導・支援まで行います。特に、学生が特任教員との対話を通して行う現場体験の振り返り活動は、教師や保育士としての能力形成にとって重要な体験を省察する学習機会となっています。特任教員が教育委員会をはじめ小学校や幼稚園など関係諸機関と連携のもと、支援体制を構築していることも本センターの強みです。



小学校教諭について

教育は自己や他者との対話を通じて深めていく魅力的な学問領域です。学校現場では、各地の実情に応じて、取り組むべき教育テーマが設定されています。各地域の教育課題に対処していくためには、次に掲げる確かな実践的指導力を備え、教育課題に取り組んでいける力量のある小学校教諭が求められています。

- ・児童一人ひとりに応じた「確かな学力」の形成や生徒指導における実践的指導力を備えた小学校教諭
- ・教育者としての実践を支える幅広い専門知識を備え、児童の発達についての深い洞察力を持って、多様化・複雑化する教育現場の課題に柔軟に対応できる小学校教諭
- ・保・幼・小連携が重視される中、子育て支援の関連諸機関などと協力関係を構築し、これらをリードできる小学校教諭



実習概要 教育コース



「小学校教育実習」（3年：9月～10月、4週間）では、校長、教頭、実習指導担当教員から学校経営方針や組織的運営等について指導を受けるとともに、授業及び学級経営、児童の集団指導や個別指導についての観察や補助、教科等の指導などを体験します。また、「実習ノート」を記録するとともに、指導案等を作成し、授業研究に取り組みます。「特別支援学校教育実習」（4年：10月、2週間）でも同じように、校長や教頭、実習指導担当教員による一連の指導とともに、特別支援学校ならではの児童生徒の実態に即した指導法も習得します。「幼稚園教育実習B」（4年：10月、2週間）では、観察・参加・指導実習を通して、幼児を理解する力と教育実践力の基本を習得します。

実習日誌



玉置 太一さん

教育学部児童教育学科4年
愛知県立高蔵寺高等学校 出身

教育実習では6年生を担当させていただきました。実習中に特に感じたことは、学年ごとに児童の実態が大きく違うということです。また、同じ学年でも学校によって大きく異なるとも感じました。実態に応じた授業作りや学級経営をすることがとても大切だと学びました。

授業に関しては、大学の講義で学んだことを活かしつつ、担当の先生からも多くのアドバイスをいただいて、なんとかやり切ることができました。模擬授業では児童の発言がある程度予測できるのですが、実際の授業では子どもたちからいろいろな意見が出てきます。その意見をうまく拾って深められるような授業ができるように今後学んでいきたいです。

実習を通して、今まで漠然としていた「先生になりたい」という夢のはっきりと目標に変わりました。子どもたちが学校という場所でいろいろなことを学び成長していく過程に教師として関われるところに、とてもやりがいや魅力を感じました。今後も、担当の先生や他の先生方からいただいた学びについて、講義などを通して深めていけたらと思います。

実習概要 保育コース



「保育実習Ⅰ（保育所）・保育実習Ⅱ」（2年：6月～7月、各10日間）では、観察・参加・部分・全日実習を通して乳幼児理解を深め、実践的、専門的な知識と技術を習得します。研究保育にも挑戦します。「幼稚園教育実習A」（3年：9月、4週間）では、幼児理解、学級経営、教師間のチームワーク、職務内容等についてさらに理解を深め、教育実践力の基本を習得します。最後の「保育実習Ⅰ（施設）・保育実習Ⅲ」（3年：10月～11月、各10～11日間）では、社会的養護・子どもの最善の利益・職業倫理等について具体的に理解を深め、児童の生活支援の知識や技能を習得します。

実習日誌



山下 華凜さん

教育学部児童教育学科4年
岡山県立笠岡高等学校 出身

私は幼稚園教育実習で、4歳児クラスに20日間入らせていただきました。子どもとの関わり方に不安を抱えながらの実習でしたが、保育者と子どもとの関わりを実際に見られたことや、振り返りの時間に不安や質問に親身に答えていただけたことで、4歳児さんとの関わりでは、一人ひとりの特性を踏まえて、ねらいを持ちつつ、援助のタイミングや度合いを調整することが大切だと学ぶことができました。

研究保育では、ルールのあるあそびを行いました。何度かあそびを行えたため、子どもや保育者との振り返りを通して、次に同じあそびをする時はどうすればもっと楽しめるのか、あそびに向かう子どもの姿から子どもの発達に沿ったあそびができているか、何をねらいとしてあそびを展開するのかなど、一つのあそびでも、子どもたちが主体的に活動に向かう部分と、保育者が意図を持って活動を動かす部分とを深く考え、学ぶ機会となりました。

この経験を活かして、子ども一人ひとりの姿を意識しつつ、子どもたちが興味・関心を持ち、楽しみながら向かうことのできる活動や環境づくりを意識して、保育に向かいたいと思います。



岡野 佑香さん

児童教育学科 教育コース4年
愛媛県立今治西高等学校 出身

私は小学生の頃に会った先生に憧れて、学ぶことの楽しさを伝えることができる教員を志すようになりました。そこで広島県での就職を見据え、現場に即した実践的な学びができる福山市立大学を選択しました。

本学の魅力の一つとして、少人数制という学習環境があります。教員や仲間との距離が近く、多様な価値観を共有しながら、互いに高め合うことができます。また4学期制による集中した学びや、小学校教諭一種免許状と特別支援学校教諭一種免許状の両方が取得可能という点も大きな魅力です。そして、2年次から始まる「実地体験活動」は、私の成長の柱となっています。早い段階から実際の教育現場で子どもの実態や先生方の働き方に触れることで、指導方法や子どもとの関わり方を学ぶことができます。現場の実態を把握した上で、大学での指導案作成や模擬授業、そして3年次の教育実習に取り組むことができ、理論と実践を繰り返していくことによって、実践的な指導力の向上を実感しています。

将来は、大学での学びや仲間との研鑽を活かし、子どもたちに学ぶことの楽しさを感じてもらえる授業をつくる教員を目指します。そして、子どもとともに成長し学び続けることができるよう、これからも本学での学びの機会を大切にしていきます。



溝入 由華さん

児童教育学科 保育コース4年
広島県立明王台高等学校 出身

私は、中学生の頃から保育士になりたいと思っており、大学進学の際に国公立大学で実家から通うことができ、資格や免許の取得の面で充実している福山市立大学を選びました。

授業では、子どもの発達や子ども理解など、重要な知識や考え方を学びながら、ピアノや身体表現、図画工作などの実技も身につけていきます。人前で話すことやピアノの弾き歌いなど、苦手だと思うことや緊張することもありますが、同じ「保育者になりたい」という目標を持つ仲間たちと、学校生活を楽しみながら学びを深めていくことができます。また、実習や実地体験活動を通して、授業で学んできたことを実践し、その実践を振り返ることで、さらに学びが深まっていくと感じました。

バレーボールや図書館でのボランティアなどの好きな活動も、学業と両立できる範囲で行ってきました。そのため、学年や学部を越えて様々な人と関わることで、大学生活がより充実したものになったと思っています。

私は、大学生活で学んだことや経験したことを活かしながら、子どもの気持ちに寄り添い子どもたちを笑顔にすることができる保育者になりたいです。また、正解のない保育だからこそ考え続けることをやめず、子どもたちにとって安心できる居場所となれるよう努力していきたいです。



教育学部長 林原 慎

◆社会科教育 ●初等社会 ●社会科指導法 ●総合的な学習の時間の指導法

激しく移り変わる社会の中で、子育て環境や教育環境は大きく変化しています。2011年に公立大学として全国で初めて開設された本学の教育学部では、時代の変化に応じた幅広い教養と豊かな人間性を備え、子どもの乳児期から児童期までの発達・成長を総合的に捉える能力を育成しています。また、一人ひとりの子どもを尊重した指導・支援ができる保育者・教育者を4年間のカリキュラムの中で養成します。本学部では、地域の未来を担う子どもたちの成長や学び、発達や障害についての高い専門性と実践的指導力を修得できます。



◆保育学 池田 明子 ●保育内容総論A ●乳児保育Ⅱ	◆障害児臨床 伊澤 幸洋 ●特別な支援を要する子どもの理解と教育 ●障害者発達診断法	◆障害児心理 今中 博章 ●知的障害者指導論 ●障害者発達診断法	◆算数教育 太田 直樹 ●算数 ●算数科指導法
◆表現教育 大庭 三枝 ●フランス語Ⅰ～Ⅲ ●運動・身体表現活動Ⅰ・Ⅱ ●保育内容（表現A）	◆幼児教育学 加藤 望 ●教育課程論B（幼・保） ●教育方法論B（幼）	◆保育内容論 米野 吉則 ●保育内容総論B ●保育内容（健康） ●幼児と健康	◆音楽教育 古山 典子 ●音楽表現活動Ⅰ・Ⅱ ●初等音楽 ●音楽科指導法
◆教育心理学 佐藤 奈月 ●発達と学習の心理学 ●教育統計	◆美術教育 渋谷 清 ●図画工作表現活動Ⅰ・Ⅱ ●図画工作 ●図画工作科指導法	◆青年心理学 高澤 健司 ●キャリアデザインA ●青年心理学 ●生徒指導論（進路指導を含む。）	◆英語教育 瀧本 哲弘 ●初等英語 ●英語科指導法
◆教育哲学 田中 直美 ●教育学 ●道德教育論	◆教育方法学 長澤 貴 ●教育方法論A（小） ●教育課程論A（小） ●特別活動論	◆社会福祉学 野口 啓示 ●社会福祉 ●子ども家庭支援論	◆生理心理学 平野 晋吾 ●心理学 ●心理学実験演習
◆発達心理学 松尾 浩一郎 ●発達心理学 ●心理学実験演習	◆教育制度 三山 緑 ●教職論 ●教育制度論	◆国語教育 森 美智代 ●初等国語 ●国語科指導法	◆幼児心理学 山田 真世 ●乳幼児心理学 ●幼児と人間関係 ●保育内容（人間関係）
◆理科教育 山中 真悟 ●初等理科 ●理科指導法	◆体育教育 山西 正記 ●初等体育 ●体育科指導法	◆特別支援教育学 吉井 涼 ●特別支援教育総論 ●重複障害教育総論	◆児童福祉 吉田 耕平 ●子ども家庭福祉 ●社会的養護Ⅱ
◆比較教育 劉 郷英 ●言語表現活動	◆保育内容（言葉等） 渡邊 真帆 ●保育内容（言葉） ●保育内容（環境）	◆保育学 2027年4月着任予定 ●保育内容総論A ●保育原理 ●保育者論	

都市経営学部 都市経営学科

都市経営学部都市経営学科の理念

日本の社会が大きな転換期を迎え、時代は「拡大」「成長」から「成熟」「持続」という流れにあります。それぞれの地方都市が、これからも個性的で活力がある「まちづくり」「地域づくり」を進めていくためには、地域全体を見渡ししながら、限られた資源からより多くの公益を生み出す経営的視点や手法を導入していくことが重要になります。福山市立大学の都市経営学部は、現代の都市社会が抱える、複雑・多様な課題を学際的な視点から教育・研究し、持続可能な都市社会の構築のための社会システムや経営モデルを探究する「地方の時代をリードする都市経営学」の創造を目指して設置されました。地域の課題に対処していくために、都市の成り立ちや都市の経営、都市の環境や開発についての高い専門性を備え、幅広い視野と柔軟な思考力、確かな知識に基づく国際感覚や豊かなコミュニケーション能力をもって企業や行政、住民や地域、各種団体や施設などとの連携のもとに、企業の活性化や地域の再生に創造的に貢献できる人材の育成を目指します。

求める学生像

- 社会の変化や世界の動きに関心があり、地域社会の課題や在り方に幅広い関心と興味を持って、専門的・実践的な力量を高めていく意欲のある人
- 地域社会や人々の暮らしに関わることに使命感を持ち、地域社会の向上や活性化のために働くことにやりがいや生きがいを感じることの出来る人
- 地域づくりやまちづくりに関わる人々とのコミュニケーションを図り、地域の人々と連携しながら地域の課題に熱意をもって取り組んでいくことの出来る人

21世紀の「まちづくり」に必要な多様な学問を学び、 都市社会の創造に寄与できる人材の育成を目指します。

文系・理系の枠にとらわれず、
幅広い知識と技術を身につけます。

都市経営学部の専門教育科目は、冒頭に示したように「環境」を共通の基盤として、「計画・デザイン領域」「経済・経営領域」「共生・開発領域」からなる総合的な知識や素養を養うカリキュラムを展開しています。これまでの他大学の学部では、特定の領域の学問に限定して深く追求することを目指してきました。しかし、都市経営学部の研究テーマである「まちづくり」を学ぶには、関連する分野を俯瞰的に学ぶことで現実社会の課題に多角的な視点を持つことが必要になります。「アーバンデザイン演習」や「地域産業論」、「国際協力論」といった科目をはじめ、「まちづくり」に関連するすべての基礎を学んだうえで、各学生が自分の関心に基づいて、特定の学問を探究できる体制を整えています。福山市をフィールドに、地域社会の実情を把握しながら現実の課題を科学的に解き明かしていきます。データサイエンスの学びとして、データを視覚化する技術（GISなど）を習得する演習は必修としています。学生は授業以外でも地域課題に向き合えるようフィールドワークや社会実験などにも積極的に参加しています。

3つの領域の教育研究内容について

●「計画・デザイン領域」工学系 《空間としての都市の視点》

工学の視点からインフラや施設、建物、生活環境などについて、建築設計や都市の整備、まちづくりを探究。都市の利便性を高め、生活環境への課題に対応します。

主な科目：

都市計画論、生活環境論、建築計画など

●「経済・経営領域」経済学系 《活動としての都市の視点》

経済学や経営学の視点から持続的な発展に必要な行政や社会システム、経営モデルを探究し、魅力ある仕事をつくり出すことなどの経済・経営分野の課題に対応します。

主な科目：

経営学総論、経済思想史、公共政策論など

●「共生・開発領域」社会学系 《繋がりとしての都市の視点》

社会学の視点から住民自治による都市の在り方や多文化共生の社会、地域の特性を生かしたまちづくりを探究。魅力ある文化・コミュニティの創造に関する課題に対応します。

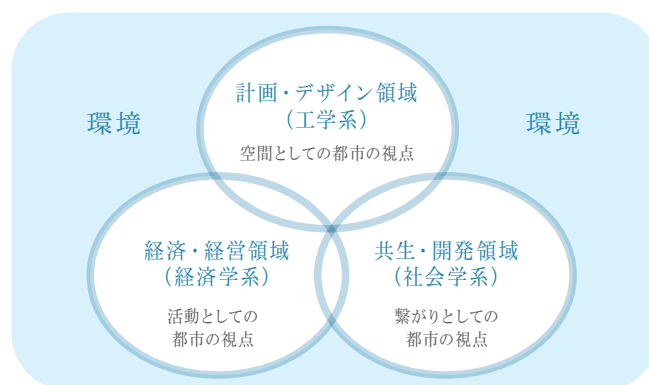
主な科目：

都市社会学、多文化共生論、国際関係論など

都市経営学部都市経営学科の学びの特徴

持続可能な都市社会の創造に寄与できる人材を育成するために、都市経営学部は新しい学問分野として設置されました。「環境」を共通の基盤に、「計画・デザイン領域（工学系）」「経済・経営領域（経済学系）」「共生・開発領域（社会学系）」の3領域から「まちづくり」を探究するために、多様な学問を融合したカリキュラムを編成しています。1年次で3つの領域の基礎となる理論や視点、考え方を複合的に学びます。そのうえで自らの関心や興味がある3つの領域のいずれかに重点を置きながら、さらに発展的に履修を深め、探究します。段階的な流れで習得する知識や手法を、学外調査、フィールドワークやデータサイエンスの学び（GISなど）を含む演習科目および実習形態を通して、具体的な課題に適用することで確かな企画力や実行力を養成します。また、現代の都市社会の複雑な課題に対処できる資質・能力を身につけます。さらに、社会の現実的課題に触れる学びとして、授業では福山市全域をキャンパスとし、地元の産業界や行政、住民組織など、地域と密接に連携しながら教育活動を展開しています。

都市経営学部都市経営学科の概念図



身につく力

環境についての幅広い知識と素養とともに、都市社会の課題についての多面的で複合的な知識と素養を備え、持続可能な地域社会の発展のために企業の活性化や地域の再生を創造的に担っていくための、企画力や実践力が身につきます。

また、統計学や社会調査の知識とともに、空間的ビッグデータを加工・解析するGIS演習などを通して、データサイエンスの基礎的な素養が身につきます。

●取得できる免許・資格

- ・木造建築士（国家試験受験資格）
- ・二級建築士（国家試験受験資格）

●目指せる進路

「計画・デザイン」領域に 重点を置いた履修をした場合	「経済・経営」領域に 重点を置いた履修をした場合	「共生・開発」領域に 重点を置いた履修をした場合
・建設・不動産業 ・住宅メーカー・設計事務所 ・運輸・物流業 ・エネルギー・素材産業 ・自治体職員 ・大学院進学など	・製造業 ・卸売・小売業 ・金融・保険業 ・流通業・生活関連産業 ・自治体職員 ・大学院進学など	・海外取引のある製造業 ・コンサルタント企業 ・各種NPO法人 ・運輸・通信業 ・自治体職員 ・大学院進学など

専門教育科目	卒業研究				
	展開科目				
	計画・デザイン領域	経済・経営領域		共生・開発領域	
	土地利用計画 都市水環境システム 建築計画 建築都市計画法規 住宅政策論 環境人間工学 まちづくり計画特講 地域と都市の防災	都市交通政策 建築の歴史 都市景観論 生活環境論 生活空間学 アーバンデザイン演習 GIS演習Ⅱ 都市社会のデータ解析	行政学 金融システム論 マーケティング論 経営分析 福祉開発論 環境経営学 経済思想史 経営戦略論	地方財政論 経営管理論 起業論 生活構造論 異文化経営論 地域産業論 食料・農業経済論	市民自治論 都市情報論 異文化コミュニケーション論 環境地理学 地域文化史 国際協力論 国際援助政策 英米社会論 アラスカ社会論 韓国・北朝鮮社会論 中国社会文化論 イスラーム社会論 ラテンアメリカ社会論 都市社会の心理
専門教育科目	基幹科目				
	都市の歴史 都市基盤施設論 都市計画論 都市生活学 ミクロ経済学 経営学総論 マクロ経済学 公共政策論 地域経済論 都市社会学 多文化共生論 国際関係論				
	学部基礎科目				
	都市経営入門 都市デザイン入門 社会学入門 経済学入門 地球環境入門 都市経営ゼミ GIS演習Ⅰ				
共通教育科目	人間力科目				
	〔キャリアデザイン（2科目）〕 〔体育・健康（5科目）〕 〔入門ゼミ（2科目）〕				
	リテラシー科目				
	〔英語（9科目）〕 〔中国語・フランス語・韓国語（11科目）〕 〔データサイエンス（4科目）〕				
共通教育科目	教養科目				
	〔人間と文化（8科目）〕 〔社会と経済（8科目）〕 〔環境と生活（7科目）〕 〔情報と社会（8科目）〕 〔地域学（5科目）〕				
	実践科目				
	専門演習Ⅱ 海外語学研修 企業・行政実習 環境開発実習 まちづくり計画実践演習 産業創生実践演習 都市社会実践演習				
共通教育科目	大学入門ゼミⅠ・Ⅱ				
	都市経営ゼミ				
	専門演習Ⅰ				
	まちづくり計画特講・まちづくり計画実践演習				

2年次（4学期）						3年次（1学期）					
	月	火	水	木	金		月	火	水	木	金
1限	地域と都市の防災	英語コミュニケーションB	都市計画論	地域と都市の防災		1限	キャリアデザインB			キャリアデザインB	
2限		都市基盤施設論			都市基盤施設論	2限	環境地理学	韓国・北朝鮮社会論		環境地理学	韓国・北朝鮮社会論
3限	都市経営ゼミ					3限		地域文化史		地域文化史	
4限	都市生活学			都市生活学		4限		専門演習Ⅰ			
5限						5限	食料・農業経済論	上級英語Ⅰ		食料・農業経済論	
6限						6限					



まちづくり計画特講・まちづくり計画実践演習

具体的な対象フィールドを設定し、地域課題解決に向けた調査・分析・評価および解決策提案という一連の計画策定に取り組みます。少人数のグループワークにより現地調査も実施する中でディスカッションを進め、分析・評価などの基本的スキルを身につけるとともに、多様なまちづくりの解の存在・理解に取り組みます。



都市社会実践演習

21世紀型の新たな「持続可能な開発」とは、どうあるべきかについて、身近な地域社会の問題を題材に実践的に調査し、学びます。人口減少社会において課題をとらえ、そのうえで地域の在り方をどのように進めるかという21世紀的な本テーマについて、自らの目（調査）で実際に確かめます。



環境地理学

日本国内の自然環境の特性を、地理学的な視点から整理して学習します。日本列島の成り立ちと地震・火山活動の仕組み、気候変動によって生じた地形や植生の変化などを学びます。また、瀬戸内海沿岸地域の自然が、地質や気候変動、人間活動の影響を受けて成立していることを理解します。

4年間にわたる「まちづくり」の人材育成プログラム

多様な学問を融合したカリキュラムを編成する都市経営学部では、持続可能な都市社会の発展に寄与できる「まちづくり」のリーダー的存在として、各分野の第一線で活躍できる人材の育成を目指しています。4年間の学びでは、まちづくりに関する広範な分野における総合的な知見を養い、企業や地域が抱える課題解決に向けた実践力、企画力も身につけます。

●データサイエンスの学び

地域住民や企業との間で合意を図るには、統計的手法に基づいた数量分析の能力を習得することが必須です。都市経営学部では、「GIS（地理情報システム）演習Ⅰ・Ⅱ」や「都市社会のデータ解析」などの科目を設置し、データサイエンスに関する教育に注力しています。

●フィールドワークの学び

地域を理解するためには、数値計算やデータ処理に依存するだけでは不十分であり、自身の目や肌で現場を知ること重要です。都市経営学部では、「都市社会実践演習」「まちづくり計画実践演習」「企業・行政実習」などのフィールドワーク関連の授業も充実しています。

●グローバルな視点での学び

経済発展が目覚ましいアジア諸国を中心とした多文化理解にも力を入れており、外国語科目は英語のほか、中国語、フランス語を設置。2027年度からは韓国語も設置します。なお、福山市の多様な企業で外国人就業者の受け入れが進んでおり、近年は中国を中心に外国人登録者数が急増しているようです。

2025年度卒業研究テーマの例

- 地理的立地条件がJリーグクラブの勝利・普及・市場に与える影響
ートリプルミッションモデルによる都市型・地方型分析ー
- 企業版ふるさと納税の活用実態に関する研究
ー広島県内の寄附事例と企業アンケート調査をもとにー
- 播州手延素麺産地における担い手構造の変容と産業の持続可能性
- 移住がもたらす地域経済への影響
ー備後圏域を対象とした産業連関分析による評価ー
- 歩きやすい環境づくりと商店街
ーウォーカブルな空間整備による賑わいの創出ー
- 地域遺産を活用した防災教育 ー別所砂留を題材にー
- 「空気を読む」文化の社会的構造
ー異なる場面における対人関係のメカニズム分析ー
- 大学生による災害ボランティアの参加動機と活動後の実感に関する研究
ー令和6年能登半島地震における仮設住宅訪問ボランティア活動の事例からー
- 氾濫シミュレーションに基づく福山市の中小河川における水害対策の検討
- 地方都市における居住特性を踏まえたみどりのあり方に関する研究
- 住宅空間の内と外をつなぐ中間領域に関する研究
ー日本の伝統住宅と現代住宅の比較からー
- 福山駅前の空間デザインと地域活性化
ー公共空間の再構築によるまちの魅力創出ー
- 保命酒の地域資源としての価値と活用可能性に関する実証的研究
ー保命酒酒造へのインタビューと保命酒バーの実践を通してー
- 地方鉄道を活用した観光振興の実態と課題
ー大井川鐵道、わたらせ渓谷鐵道を例にー
- 地方自治体によるSNS活用が若者の移住促進に果たす役割
- 広島県福山市における水害リスクと企業活動の持続性



まちづくりに資する具体的な取り組み 大学外での学生・教員の協働による活動内容

都市経営学部における特筆すべき学びの特徴は、福山市そのものをキャンパスに、多彩なフィールドワーク（社会調査・実践活動）を実施していることです。行政や企業、地域の人々と連携し、実習やゼミ、ボランティアといった機会を通じて、社会が直面する複雑かつ多種多様な問題の解決に取り組んでいます。

オープンストリート・フクヤマ

にぎわい創出を目指すイベントを 通じて社会実験を実施

2020年10月、2日間にわたり開催された「オープンストリート・フクヤマ」に都市経営学部の学生が参加しました。中核都市の玄関口、JR福山駅周辺のにぎわい創出を目指すイベントです。福山商工会議所や福山市などで構成する実行委員会主催で2017年秋から行い、駅周辺を歩いて楽しめる空間にする社会実験の位置づけになっています。学生は企画からイベントづくりに参加しました。会場に必要な机や椅子を製作し、「遊び感覚でスポーツテスト」といった各種コーナーを用意するなど、地域の人々と協働。当日は、企業と考案したイチゴのソーダを2日間限定で販売しています。また過去の実験と比較するためのアンケートとマッピングを実施し、通行量や人の流れの変化も調べました。本学部ではこのイベントを通じて、地元の懸案事項について多面的にとらえ、行政や企業、地元住民らと連携し、持続可能な都市社会を実現するための地域の課題に向き合っています。



FUKUYAMA Park Life LAB

公園のこれからを 「自分ごと」としてデザインする

春日池公園は、福山市東部に位置する広大な池を中心とした緑豊かな公園です。現代の公園運営では、民間の優良な活力を導入して、管理の効率化とより質の高いサービスの提供が求められています。そこで春日池公園では、行政・地域・大学が連携し、みんなのアイデアとアクションで、これまでにない魅力的な公園を具体的に実現するプロジェクトに取り組んでいます。ここでは、根本教授がアドバイザーとして参画し、学生たちは市民の皆さんと協働しながら、実践的なワークショップを通して都市経営を学んでいます。

2024年度には、利用者が公園にもっと愛着を持てるように、皆さんと一緒に園内のベンチのリフレッシュに取り組みました。また、普段は静かな貯水池を、カヤック体験を通して新たな市民活動の場として活用する可能性を探る試みも実践しました。これらの活動は、公園という身近な場所をより良くすることで、地域社会全体の活性化につながるチャレンジです。



環境開発実習 ～実践的な学びの一例～



アメリカ合衆国アラスカ州にあるアラスカ大学フェアバンクス校に約2週間滞在し、アラスカの大自然のもと、語学研修やアラスカ大学の研究者等による講義や野外実習を受講するプログラムです。実習期間中、フェアバンクス校が実施する夏期プログラムに基づき、午前中は英語学習、午後はアラスカの自然、歴史、文化等についての実習を行います。また、期間中、3日間程度、近隣の野外巡検を行います。

この実習の目的は、アラスカを訪し、自然と文化、環境と都市の関わりや依存関係を理解し、都市の成り立ちについて考察すること、現地の風土、歴史、文化及びそこで生活する人々に触れることによって異文化への理解を深め、様々な国の人々と協力し合える国際感覚を身につけること、生きた外国語に触れることによって語学力の向上を図り、将来のキャリア形成に役立てることです。

実習日誌



沖政 美蒼さん

都市経営学部都市経営学科4年
広島県立安古市高等学校 出身

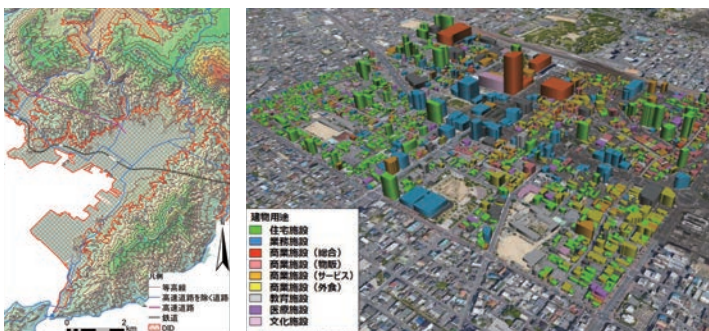
私はアメリカのアラスカ州フェアバンクスに滞在し、2週間の「環境開発実習」に参加しました。

この実習の最大の魅力は、座学に留まらない「実体験」と「交流」にあります。日本とは全く異なる自然や文化を肌で感じることで、私の視野は大きく広がりました。また、拙いながらも自身で考えて英語で活動したことは、語学に対する大きな自信へと繋がりました。

数ある貴重な経験の中でも、特に日本との圧倒的な環境や雰囲気の違いが印象に残っています。私は現地で目にする光景に、日々新鮮な衝撃を受けていました。しかし、単に驚くだけでなく、その違和感や疑問を同行の先生や現地の方々に直接投げかけることで、その背景にある歴史や文化、自然の成り立ちを深く掘り下げて知ることができました。

この実習を通して培った「物事の背景を深掘りし、多角的に捉える視点」は、今後の進路においても大きな強みになると確信しています。未知の世界に触れ、自分の価値観をアップデートできる素晴らしい機会です。ぜひ皆さんも、この実習に挑戦してみてください。

GIS演習 ～データサイエンスの学びの一例～



福山市の地図と町村の人口密度のデータをパソコン上で重ね合わせて色分けすると、駅前や郊外、中山間といった地域の人口分布を可視化できます。この地理情報システムの略称がGIS (Geographic Information System) で、現代の社会生活になくてはならない情報基盤と位置づけられています。地域の特性を理解し、現状に触れながら具体的な課題意識をもった探究を重視する都市経営学部は、GISを基礎的な分析ツールと認識。必修の「GIS演習Ⅰ」ではシステムへの理解を深め、代表的なソフトウェアの基本的操作方法を学びます。選択の「GIS演習Ⅱ」では、「GIS演習Ⅰ」で学んだ知識やスキルを前提に、応用的な地域分析方法を身につけ、GISを活用するための現地調査設計、調査結果の出力・分析を行います。

実習日誌



松本 拓真さん

都市経営学部都市経営学科3年
広島県立神辺旭高等学校 出身

GISは、地図上に複数のデータを重ね合わせることで、地域の特徴や課題を視覚的に把握できる分析ツールです。演習授業では、複数回にわたる実践を通して、基本的なツールの操作方法からデータの加工・活用方法まで体系的に学びました。

公共施設の位置情報、人口統計、地形データなど、多様な情報を扱える一方で、複数のデータを正確に反映させる作業には難しさもあり、特にデータ形式の違いや座標系の調整には苦労しました。しかし、こうした技能は都市経営学部での調査研究において大きな力となると実感しています。実際に私は、福山市の鉄道路線や総合病院の位置、さらに既存データを基に独自に算出した地区別の高齢者居住率を組み合わせて、新駅設置の提案を行いました。

GISを活用することで、都市の課題を多角的かつ客観的に分析し、まちづくりの方向性をより具体的に検討できます。特に私は防災の視点から都市課題の解決に関心があるため、今回の演習で身につけた技能を、今後の防災・減災に向けた研究に最大限活かしていきたいと考えています。



森本 あさひさん

都市経営学科 4年
広島県立賀茂高等学校 出身

私が福山市立大学都市経営学部を選んだ理由は、学問分野にとらわれず、大学 4 年間で自分の「好き」を見つけられると思ったからです。高校生の頃は将来の夢ややりたいことがはっきりしておらず、だからこそ大学では、さまざまな経験を通して自分の可能性を広げたいと考えていました。

都市経営学部では、環境やまちづくり、経済、国際的な課題などを横断的に学ぶことができます。自分の興味とは少し異なる分野にも触れることで、新たな視点や気づきを得られる点が魅力です。入学後、地域に出て活動する先輩たちの姿を見て、「自分もこんな大学生活を送りたい」と感じました。

実際に私は、高校生の頃から身近な存在として関心のあった農家や農業について、学生主体で何かできないかと考え、農家の情報発信や、イベントでの野菜スムージーや豚汁の販売に取り組みました。こうした活動を通して、人と関わりながら学び続ける力を身につけました。今後は、立場や分野の異なる人と協力しながら課題に向き合い、行動につなげていく力をさらに伸ばしていきたいと考えています。

「キャンパスはまち」という言葉の通り、福山のまち全体が学びの場です。挑戦することの楽しさを教えてくれる大学だと感じています。



森山 陽太さん

都市経営学科 3年
広島県立福山誠之館高等学校 出身

私が福山市立大学を選んだ理由は、幅広い知識を身につけることができ地域とのつながりが深いという強みがあるからです。都市経営学部は計画・デザイン、経済・経営、そして共生・開発という 3 つの領域に分かれており、多岐にわたる分野についての講義を受けることができます。また、都市や地域が抱える課題を自分たちで調査し、議論を重ねながら考えを深めることができ、答えのない問いに向き合う力が養われます。

さらに本学には、毎年 7 月に環境開発実習（アラスカ実習）という授業があります。アラスカ州にあるアラスカ大学フェアバンクス校に 2 週間滞在し、英語の授業や自然、歴史、文化などに関する講義を受けることができます。様々なアクティビティもあり、日本とは異なる社会や自然環境の中で学ぶ経験は視野を大きく広げ、自分の価値観を見直す貴重な機会になります。

大学では今年度より環境系のゼミに所属しています。都市の緑について、データ分析やフィールドワークを通して研究していこうと考えています。本学で学んだ知識・スキルを活かし、地域や社会の課題に主体的に向き合い、地元に貢献できるような人間になりたいと考えています。



都市経営学部長 渡邊 一成 ◆都市交通工学 ●都市基盤施設論 ●都市交通政策

【都市・地域や企業・組織の持続可能な経営の在り方を学際的に考究しよう】

多様化・複雑化する都市・地域や企業・組織の持続可能な経営を考えるためには、学際的な知識・素養に基づく新たな価値の創造が求められ、様々な専門分野の英知を結集した取り組みが不可欠な時代となっています。都市経営学部では、理学・工学・経済学・経営学・社会学・文学など様々な専門分野の教員が所属・連携する中で、価値創造に資する専門家 (Generalist) の育成を目指しています。本学部では、4 年間にわたる少人数ゼミを通じて、学生の個性やニーズに応じた学びを支援するとともに、地理情報システム (GIS) を学部におけるデータサイエンスの基礎ツールとして全学生が学び、二級建築士・木造建築士の受験資格取得の履修プログラムや簿記などの資格取得にも対応し、学生の未来づくりを支援しています。教員一同、未来を切り開く熱意ある学生の入学を期待しています。



◆物理学 石尾 広武 ●数理の世界 ●環境と物理 ●情報応用演習Ⅰ・Ⅱ	◆地域づくり計画学 大谷 悠 ●土地利用計画 ●生活環境論	◆国際協力論 沖田 陽介 ●国際協力論 ●国際援助政策 ●国際開発論	◆都市防災 加藤 誠章 ●地域と都市の防災 ●フィールド情報学
◆都市政策論 金 淳植 ●公共政策論 ●地方財政論 ●ミクロ経済学	◆地域経済学 清原 昭子 ●地域経済論 ●社会調査法 ●食料・農業経済論	◆都市計画学 久保園 洋一 ●都市計画論 ●住宅政策論 ●建築都市計画法規	◆都市生活学 小島 見和 ●都市の歴史 ●都市生活学 ●建築の歴史
◆都市社会学 齊藤 綾美 ●都市社会学 ●市民自治論 ●都市社会実践演習	◆自然地理学 澤田 結基 ●環境地理学 ●環境開発実習 ●福山学A	◆環境工学 清水 聡行 ●環境と化学 ●都市水環境システム	◆都市景観学 高野 健人 ●都市景観論 ●アーバンデザイン演習
◆地域産業論 塚本 僚平 ●地域産業論 ●産業創生実践演習	◆マーケティング論 辻 紳一 ●経営学総論 ●マーケティング論 ●経営戦略論	◆建築計画学 根本 修平 ●建築計画 ●設計製図	◆経済学 長谷川 良二 ●マクロ経済学 ●経済学入門
◆スポーツ科学 林 聡太郎 ●健康・スポーツⅠ・ⅡA・ⅡC ●健康科学 ●環境人間工学	◆英米文化論 牧田 幸文 ●上級英語Ⅰ・Ⅱ ●英米社会論	◆国際関係論 松浦 正伸 ●国際関係論 ●国際関係史 ●韓国・北朝鮮社会論	◆社会心理学 宮前 良平 ●都市社会の心理 ●都市社会実践演習
◆地球環境学 向井 厚志 ●自然誌概論 ●地球環境入門	◆経営学 檜田 智子 ●経営管理論 ●現代の経営 ●異文化経営論	◆地域史研究 八幡 浩二 ●瀬戸内の歴史と文化 ●地域文化史 ●地域産業史	◆共生社会論 山口 健一 ●社会学入門 ●多文化共生論 ●異文化コミュニケーション論
◆経済思想史 山本 千寛 ●社会思想史 ●経済思想史 ●科学技術社会論	◆都市解析 横山 真 ●都市社会のデータ解析 ●統計の世界 ●GIS演習Ⅰ・Ⅱ		

キャリア教育・就職支援について

カリキュラム自体に
“キャリアデザイン関係の科目を開設”

学部共通科目として〈キャリアデザインA・B〉など〈キャリアデザイン科目〉を開設し、e-learningを活用しての英語能力のスキルアップをはじめ、幅広い外国語科目や情報リテラシー科目を開設しています。また、地元地域の企業や行政と連携した〈企業・行政実習〉（インターンシップ）や海外の学生交流協定校である米国アラスカ州にあるアラスカ大学フェアバンクス校（UAF）で行う〈環境開発実習〉などの実習科目も開設し、幅広い視野とスキルアップにつながる科目を履修できるのが特徴です。

全学的な支援“すべての教職員が
すべての学生に責任をもつ”

1年次よりゼミ教育やオフィシアワーを通じて学生の相談・指導にあたっています。
また、すべての学生に相談や指導がゆきわたるように、常日頃からゼミ担当の教員とキャリアデザインセンターにて連携を行っています。

キャリアデザインセンター
(CDC)の設置

キャリアデザイン支援に係る様々なセミナーやガイダンス、講座、学内合同企業説明会などを企画・立案し、定期的に実施しています。
また、日々の相談・指導業務、企業の人事担当者様などとの情報交換を行い、学生の就職先の開拓、就職情報の収集・分析などの業務を行っており、社会に貢献できる学生を育てることができるよう支援体制を整えています。

キャリアデザインセンターのサポート体制について

キャリアデザインセンターでは、就職情報の収集をはじめ、就職ガイダンスやキャリア教育などを通じ、在学生および卒業後1年以内の卒業生に対して、社会的・職業的自立の指導や就職支援を行っています。また、経験豊富な専門スタッフ（3名の相談員）が、個別に学生の相談に対応しています。このほか、公務員・教員採用試験の説明会、学内合同企業説明会、業界研究セミナー、卒業生による就職報告会なども随時、開催します。また、公務員試験対策講座や就職筆記試験対策および面接対策、適職診断テストなど、学生のニーズと学年の進行に応じた豊富なメニューを用意して、充実した支援を行います。



4年間就職支援スケジュール ※2026年度計画（予定）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1・2年生	●教員採用試験説明会 （岡山県教委など）「2年生」 ●オリエンテーション	●インターンシップ準備講座 「2年生」 ●インターンシップ基礎セミナー 「2年生」 ●職務適性テスト「2年生」	●就職ガイダンス （就活マナー・業界研究） 「2年生」	●保護者向け就職説明会		●就職筆記試験対策講座	●教員採用試験3年次受験制度 説明会「2年生」 ●キャリアセミナー（公務員編） 福山市役所 ●業界研究セミナー ●企業内定者による体験報告会 ●卒業生による就職報告会	●公務員試験合格者による 体験報告会 ●業界研究セミナー	●教員採用試験説明会 （広島県教委など） ●キャリアセミナー（保育士編） 福山市役所 ●業界研究セミナー	●保育士就活準備講座「2年生」 ●キャリア支援講座「2年生」 ●公立保育所受験者による 体験報告会「2年生」		●学内合同企業説明会
3年生	●就職全体ガイダンス （都市・教育（企業希望者）） ●教員採用試験説明会 （岡山県教委など） ●公務員試験対策講座説明会 ●オリエンテーション	●インターンシップ準備講座 ●インターンシップ基礎セミナー ●公務員試験対策講座（翌年6月まで） ●就職全体ガイダンス（教員・保育士） ●職務適性テスト	●就職ガイダンス （就活マナー・業界研究）	●就職全体ガイダンス ●保護者向け就職説明会		●就職筆記試験対策講座	●面接対策講座 ●ES書き方講座 ●就職全体ガイダンス（企業・公務員） ●教員採用試験対策（模試） ●公務員試験対策（模試） ●キャリアセミナー（公務員編）福山市役所 ●業界研究セミナー ●企業内定者による体験報告会 ●卒業生による就職報告会	●教員採用試験対策（模試） ●面接対策講座（集団面接・討論） ●公務員試験合格者による体験報告会 ●就職全体ガイダンス（教員・保育士） ●適職診断テスト ●業界研究セミナー	●適職診断フォローアップ講座（自己分析編） ●適職診断テスト解説会 ●教員採用試験説明会（広島県教委など） ●集団面接・討論対策講座 ●キャリアセミナー（保育士編）福山市役所 ●教員採用試験合格者による体験報告会 ●業界研究セミナー	●教員採用試験対策（模試） ●就活解禁直前セミナー ●集団面接・討論対策講座 ●公立保育所受験者による体験報告会 ●適職診断フォローアップ講座 （自己PR編）	●小論文対策講座 ●個人面接対策講座（模擬トレーニング） ●公務員試験対策（模試）	●公務員試験対策（模試） ●教員採用試験対策（模試） ●学内合同企業説明会
4年生	●個人面接対策講座 ●教員採用試験説明会 （岡山県教委など） ●保育士就職模試 ●オリエンテーション	●公務員試験対策（模試） ●就活チェック講座	●教員採用試験対策講座 （集団討論・個人面接） ●就活チェック講座						●キャリアセミナー（保育士編） 福山市役所			
	●採用情報公開 （エントリー受付開始）											
	●国家・総合											
	●選考											
	●国家・一般											
	●地方・A日程											
	●地方・B日程											
	●地方・C日程											
	●内定											
	●地方・D日程等											

●採用情報公開
(エントリー受付開始)
●国家・総合

取得できる免許・資格

取得できる免許・資格

教育学部		都市経営学部
児童教育学科 教育コース	児童教育学科 保育コース	
教育コースでは、所定の授業科目を履修することによって、小学校教諭一種免許状に加えて、幼稚園教諭一種免許状または特別支援学校教諭一種免許状の取得が可能となります。	保育コースでは、所定の授業科目を履修することによって、保育士資格に加えて幼稚園教諭一種免許状の取得が可能となります。	都市経営学部都市経営学科では、所定の専門教育科目と卒業要件単位に算入しない選択科目の履修によって、木造建築士および二級建築士の国家試験受験資格が得られます。
●小学校教諭一種免許状 ●幼稚園教諭一種免許状 ●特別支援学校教諭一種免許状 (知的障害者に関する教育の領域) (肢体不自由者に関する教育の領域) (病弱者に関する教育の領域)	●保育士資格 ●幼稚園教諭一種免許状	●木造建築士（国家試験受験資格） ●二級建築士（国家試験受験資格）

大学院

大学院

本学の大学院は、学部4年間の学びを発展させるとともに、学術の理論及び応用を教授研究し、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を養います。また、地域に根ざした高度な研究を行い、その成果を還元することにより地域社会の発展に寄与することを目的としています。

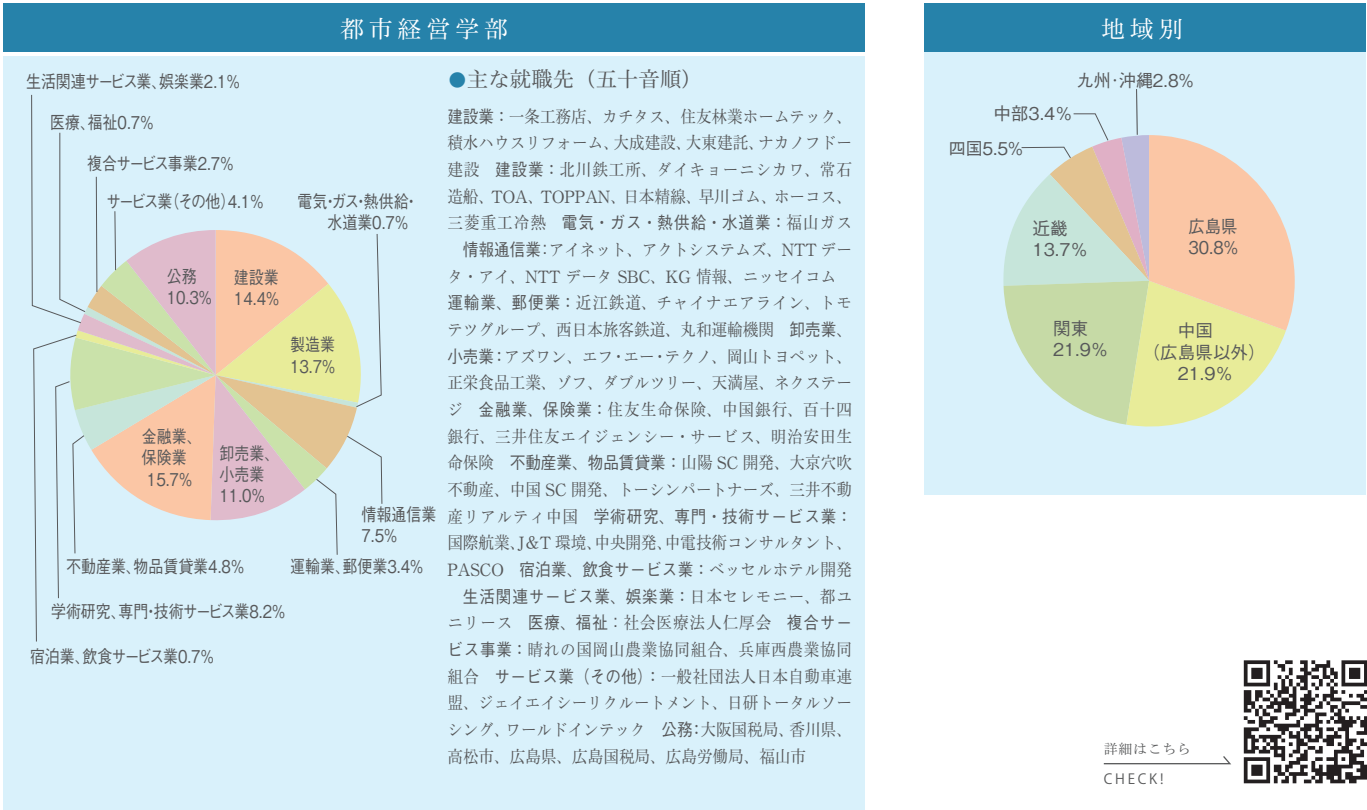
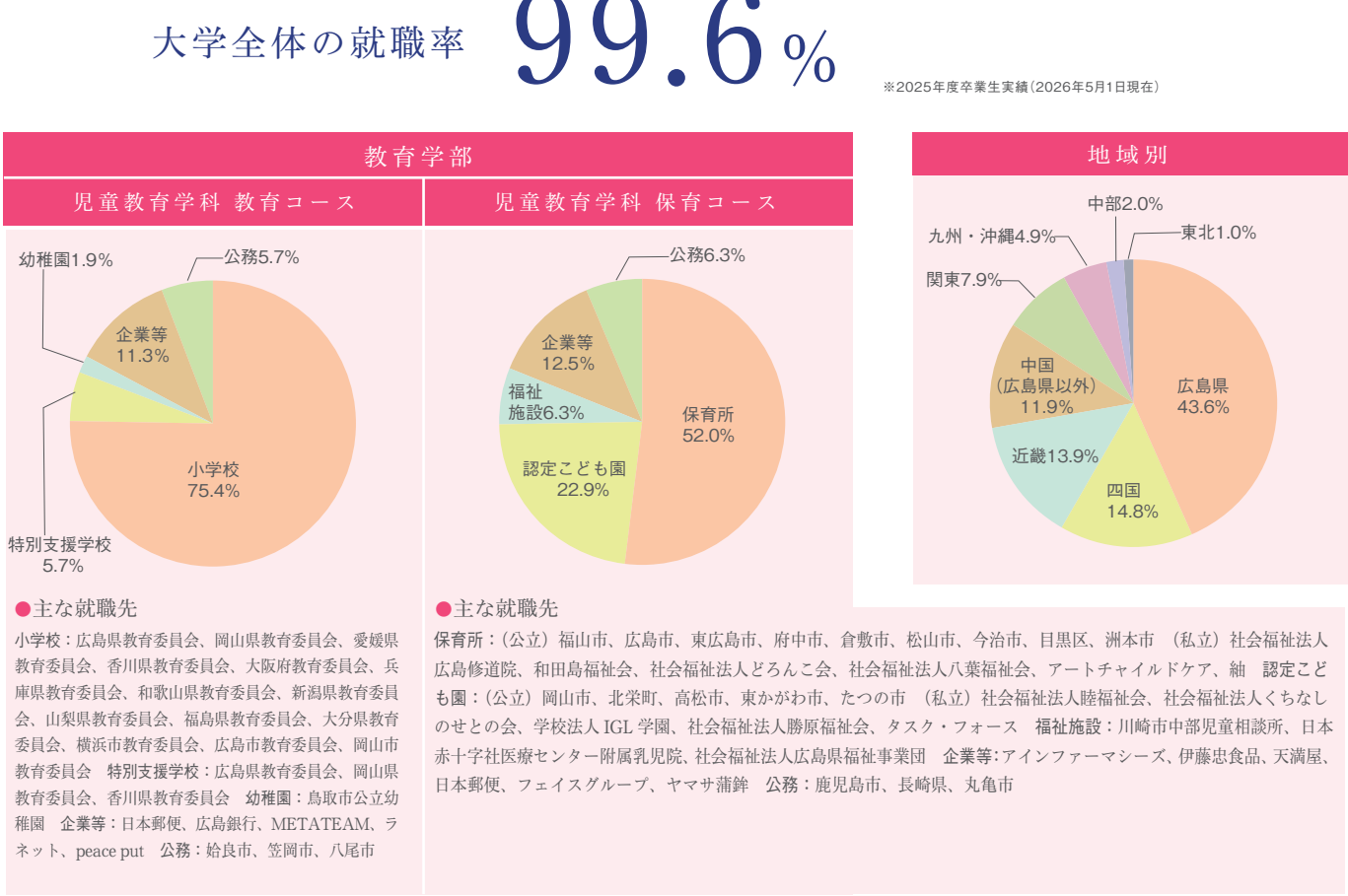
教育学研究科 児童教育学専攻 (入学定員8名)	都市経営学研究科 都市経営学専攻 (入学定員8名)
教育学研究科は、福山市内の小学校、特別支援学校、認定こども園、幼稚園、保育所、児童福祉施設と連携した学部での4年間の学びをさらに発展させる場です（修学期間は2年間）。 在学生には、本学教育学部卒業生に加え、他大学卒業生、福山市内を中心とした現職、または退職された小学校教師や保育士・幼稚園教諭、社会人経験者等がいます。小規模な研究科だからこそ、多様な経歴の人たちと切磋琢磨しながら共に学ぶ環境が本学にはあります。 【教育学研究科の目的】 ①乳幼児期から児童期にわたる子どもの成長と発達についての高度な専門的知識や探究力の育成 ②教育・保育活動についての高い実践を生み出す研究力の育成 ③高度な専門職業人として教育・保育の現場で指導的な役割を担える教育者・保護者の育成 【取得できる免許】 ●小学校教諭専修免許状 ●幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭一種免許状又は幼稚園教諭一種免許状を既に取得している者で、所定の授業科目を履修することによって取得が可能です。	私たちの「まち」は、河川や大地（自然資本）の上に、橋や道路（社会資本）やオフィスビルや住宅（私的資本）をつくり、法律やルール（制度）・町内会や企業（組織）のもとで、人々（人的資本）が地域の繋がり（社会関係資本）を築きながら、暮らしています。都市経営学研究科は、多様な専門性を持つ教員との学びを通じて「まちづくり」を包括的に分析、研究し、理論と実践の両面から持続可能な都市のあり方についての最先端の知見を生み出すことを目指しています。 【都市経営学研究科の目的】 ①都市社会の成り立ちや発展についての高度な専門的知識や分析力の育成 ②複雑多様な都市社会の課題解決に必要な高い実践力の育成 ③高度専門職業人として企業の活性化や地域再生の現場で指導的な役割を担える人材の育成

[詳細はこちら](#)
CHECK!



就職・進路データ

大学全体の就職実績



[詳細はこちら](#)
CHECK!



年間を通してさまざまなイベントがたくさん！

CAMPUS CALENDAR

福山市立大学では、授業や実習体験といった学修はもちろんのこと、主に学生の手により運営される大学祭やオープンキャンパスなど、勉強以外にも多彩な行事があふれています。4年間の大学生活で、さまざまな経験を通して、充実した日々を過ごしてください。



4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

第1学期

第2学期

夏季休業

第3学期

第4学期

春季休業

● 入学式・オリエンテーション
● 健康診断
● 第1学期 授業開始

● 第1学期 授業終了
● 第2学期 授業開始

● 保育実習Ⅱ
● 保育実習Ⅰ（保育所）
● オープンキャンパス
● 環境開発実習

● 第2学期 授業終了
● 夏季集中授業
● 夏季休業期間
● 幼稚園教育実習A
● 企業・行政実習

● 第3学期 授業開始

● 特別支援学校教育実習
● 小学校教育実習
● 幼稚園教育実習B
● 保育実習Ⅰ（施設）・保育実習Ⅲ

● 港輝祭（大学祭）
● 第3学期 授業終了
● 第4学期 授業開始

● 冬季休業期間

● 春季集中授業
● 春季休業期間
● 第4学期 授業終了

● 学位記授与式



CAMPUS MAP

学ぶ、集う、くつろぐ。進化する教育環境の中で、充実した学生生活が広がるキャンパス。

地上6階建ての校舎には、講義室や実習・実験室、生協食堂・売店など、学生生活を支える設備が整っています。2024年に完成した「小松安弘記念館」は、地域との交流拠点であると同時に、学生たちの憩いの場としても利用されています。さらに、2027年4月の情報工学部開設に向け、4階建ての新校舎「情報棟」を建設中。キャンパスは今後も、より充実した学びの環境へと進化していきます。



① 大学生協食堂・売店

低価格で栄養バランスの考えられた学食メニューが提供される大学生協食堂。中庭や隣接する福山みなと公園を望みながら、ランチを楽しむことのできる開放的な空間です。無線LANにも対応しています。食堂の隣には売店が併設されており、書籍や文房具などを取り揃えています。



② 中庭

キャンパスの中央にある、ローズガーデンを備えた広場です。学園祭などのイベントにも対応できる屋外ステージが設置されています。



③ 管理棟1F廊下

廊下から中庭を望む、フリースペースです。机と椅子が設置されており、昼食をとったり、空き時間に勉強するなど、学生の憩いの場となっています。



⑦ 器楽演習室

教育学部の音楽実技を伴う科目で使用のほか、空き時間には学生が自由に利用できます。防音完備で、少人数での楽器の練習にも最適です（計4室、ほかにピアノ練習室4室）。



⑧ 和室

主室は8畳。切炉や水屋を備えた本格的な和室で、茶道や華道、囲碁、将棋などの課外活動に利用できます。



⑨ 音楽室

ステージにはグランドピアノが設置されているほか、シンセサイザーや琴、アコーディオン、木琴、鉄琴、ギターなどの各種楽器も豊富に揃っています。



⑩ 工学演習室

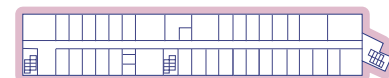
工学系の授業で使用します。空き時間には学生に開放されており、インターネットを利用した調べものや学習などに自由に使うことができます。



⑪ 附属図書館（小丸法之記念館）

豊富な教養書や専門図書、視聴覚資料、電子書籍などが揃い、ブラウジングコーナーのほか、PCコーナー、AVコーナー、グループ学習室などを完備。窓際の閲覧席からは、福山港内港が一望できます。一般開放されています（18歳以上、要予約）。

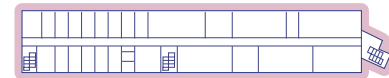
6F



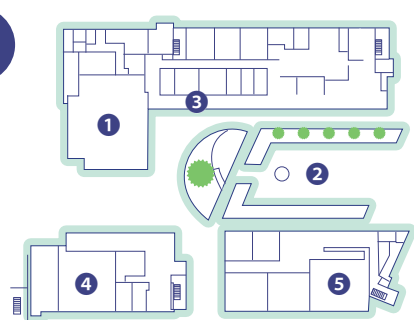
5F



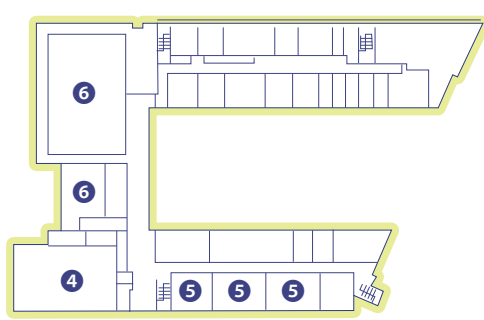
4F



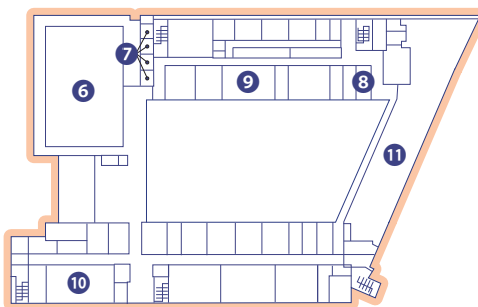
1F



2F



3F



④ 大講義室

学内最大の講義室。200インチの大型スクリーンやAV機器などを完備。大規模な講義に使用します。318名収容。



⑤ 中講義室

教壇が見やすいよう、座席をスロープ状に配置。スクリーンやAV機器、液晶モニターなども導入されており、視聴覚教材を使った講義も可能です。全4室整備。



⑥ アリーナ・トレーニング室

バスケットコート2面分のアリーナは、さまざまな運動や競技に対応できます。各種運動設備、測定機器などを備えた実技演習室やトレーニング室が隣接しています。



小松安弘記念館

地域と大学の新たな交流拠点として2024年に完成した「小松安弘記念館」。3階建ての教育研究棟、2階建ての福利厚生棟とともに、屋根付き運動場を併設しています。教育研究棟は160名収容の講義室をはじめ、ワークショップやイベント開催が可能なスペースなどを配置。福利厚生棟には子育て支援のイベントに使える多目的研修室のほか、学生同士の交流や課外活動に利用できるスペースなどを設けています。



情報棟（2027年4月供用開始予定）

2027年4月に開設する情報工学部の教育研究拠点として、4階建ての新施設「情報棟」の建設を進めています。「地域や企業に開かれた新たな教育研究・イノベーション共創拠点」をコンセプトとし、学生・教員・企業等が相互に連携しながら、実践的な学びや共同研究を展開します。これらの取組を通じて得られた成果を地域へ還元し、新たな価値を継続的に創出する拠点となることをめざします。

CLUBS & CIRCLES

キャンパスライフの充実を倍加するクラブ・サークル活動。福山市立大学では様々なクラブ・サークルが設立され、学内外で活発に活動しています。ただ「参加する」だけではなく、大学や教員のサポートを受けながら、「仲間を募る」「つくる」「運営する」というところからスタートしたクラブ・サークルが多彩に揃っています。



体育系

- 総合運動
- 陸上競技
- バレーボール
- バスケットボール
- 軟式野球
- バドミントン
- 硬式テニス
- フットサル
- 剣道
- ダンス

など14団体



文化系

- 茶道
- 吹奏楽
- 合唱
- 軽音楽
- 芸術
- 放送
- 広報誌制作
- 教育支援
- 保育
- 手話
- 国際協力
- ボランティア
- 農家応援

など15団体

クラブ・サークルの詳細情報はこちら

CHECK!



FUKUYAMA CITY AREA GUIDE

ロマンチックでミステリアスな福山の歴史と町並みが、キミたちのフィールドになる。

まちのシンボルである福山城。南には、万葉の時代から続く潮待ちの港、鞆の浦。古代より、畿内と九州を結ぶ山陽道の要として、また、瀬戸内海の海上交通の要衝として、多くの人や物が集い行き交ったまちが福山です。「キャンパスは街」そのコンセプトのもとでこの魅惑的な街がキミたちのフィールドになります。

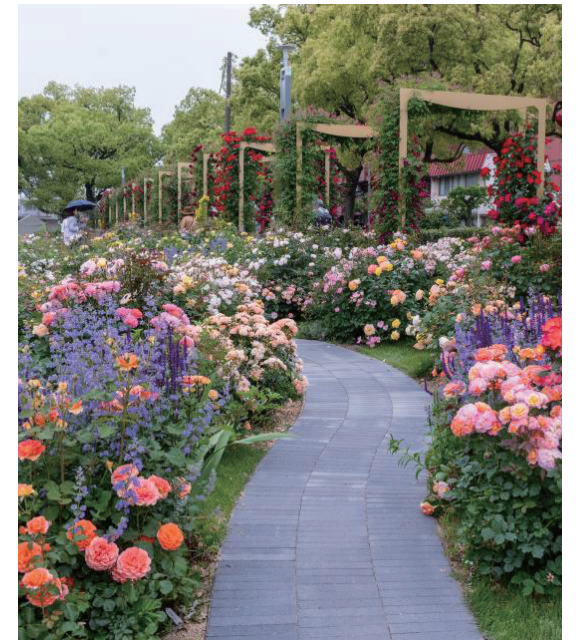


コウモリが描く、ばらのまち福山

もともと中国をはじめ東洋の国々では、「蝙蝠」は「福」に通じるとされ、めでたい生き物のひとつでした。コウモリが多く生息し、「蝙蝠山(こうもりやま)」と呼ばれていたこの地が「福山」と名付けられたのもそのためといわれます。そのコウモリが描く、「ばらのまち福山」が福山市の都市ブランドマークです。ばらのピンク色は「ローズマインド」を、コウモリの紫は「誇り」を意味します。コウモリが描くばらの軌跡は、未来に飛び立つ勢いも表しています。



① 福山城 1622年に徳川家康のいとこである水野勝成(福山藩初代藩主)が築城しました。2022年には、全国唯一と言われる天守北側の鉄板張りなどの外観が復元されました。



② ばら公園 「ばらのまち福山」を象徴する公園で、約670種7,000本のばらが植えられています。市内全体では100万本のばらが咲き誇ります。



③ 対潮楼(鞆の浦) 鞆の浦の絶景を望む客殿です。江戸時代に、朝鮮通信使が「ここから眺める景色が日本で一番美しい」と絶賛しました。



④ 「むろの木」歌碑(鞆の浦) 730年、大伴旅人が鞆の浦に寄った時に詠んだ歌の碑。万葉秀歌のひとつといわれています。大伴旅人は元号「令和」にゆかりのある人物としても有名です。



⑤ 鞆の浦 日本で最初に国立公園に指定された景勝地です。潮待ちの港として繁栄した頃の町並みが残り、日本遺産にも認定されています。



⑥ 吉備津神社 備後一宮吉備津神社は、806年に岡山の備中吉備津神社より勧請されたと伝えられており、一宮(いっきゅう)さんと人々に親しまれています。



⑦ 廉塾(菅茶山旧宅) 京都で朱子学を学んだ儒学者・菅茶山が、郷里に帰って開いた塾。頼山陽が塾頭を務めていたこともあります。



⑧ ふくやま美術館 福山城公園とリンクする都市型・公園型美術館。ふくやま文学館、福山市人権平和資料館も同公園内にあります。



⑨ 阿伏兔観音(あぶとかんのん) 1570年頃の建立で、歌川広重の浮世絵や志賀直哉の「暗夜行路」などの題材になっています。安産の祈願所としても有名です。



⑩ 葛原邸(葛原しげる童謡歌碑) 「ぎんざんざらざら夕日が沈む〜」でおなじみの童謡「夕日」の作者が葛原しげる。福山市出身の詩人・童謡作詞家です。



⑪ タカオ福山動物園(福山市立動物園) 「生への慈しみを学ぶ、多自然型リフレッシュ空間」が動物園のコンセプト。ボルネオゾウは、日本ではここで見られません。

福山市立大学の地域連携について

福山市立大学は、2011年4月の開学以来、「キャンパスは街、学ぶのは未来」の旗印のもと、地域に目を向け、地域に触れ合い、地域の課題に向き合う教育・研究・連携活動を全学挙げて展開してきました。現在は、学生の力・教員の知識や経験を生かした多彩な活動が地域で展開されるようになってきました。また、産学官金民など多様な主体との連携が広がってきており、さらに、持続可能な地域の発展に貢献する大学として取り組みを進めてまいります。

- ① 地域課題の解決や産業の活性化に向けた産官学連携事業の推進

② まちづくり・地域づくりへの参加・助言・指導

③ 地域のニーズに応じた子育て支援活動や学校支援活動の展開
- ④ 地域の国際化の拠点としての機能の発揮

⑤ キャンパス施設の市民開放

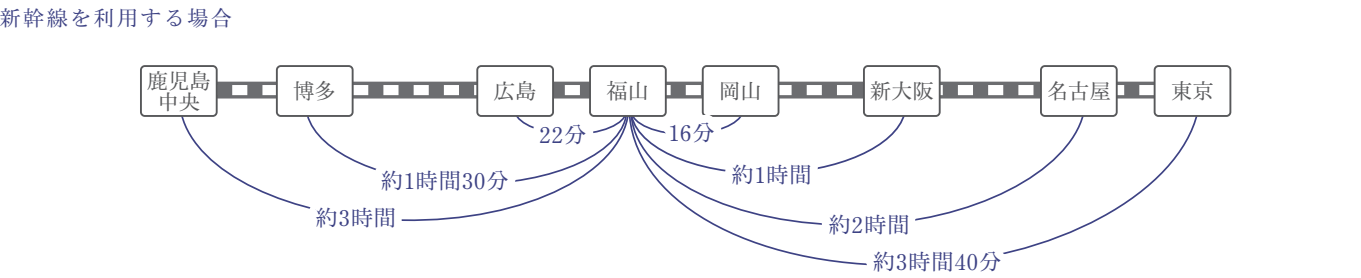
⑥ その他

アクセスガイド

JR福山駅から近く、地域に開かれた都市型キャンパスです。周辺は幹線道路網が発達し、バスや自転車での通学にとっても便利な環境です。福山駅から大学まで約2kmの道のりです。バスで9分程度、自転車で10分程度で到着します。



JR主要駅から福山駅、広島空港から福山駅までのアクセス



福山駅から大学までのアクセス(バス利用)

- 中国バス

●福山駅前2番乗り場
手城経由鋼管病院行き(約9分)「福山市立大学」下車(徒歩0分)または「手城入口」下車(徒歩2分)
- 中心部循環路線まわローズ

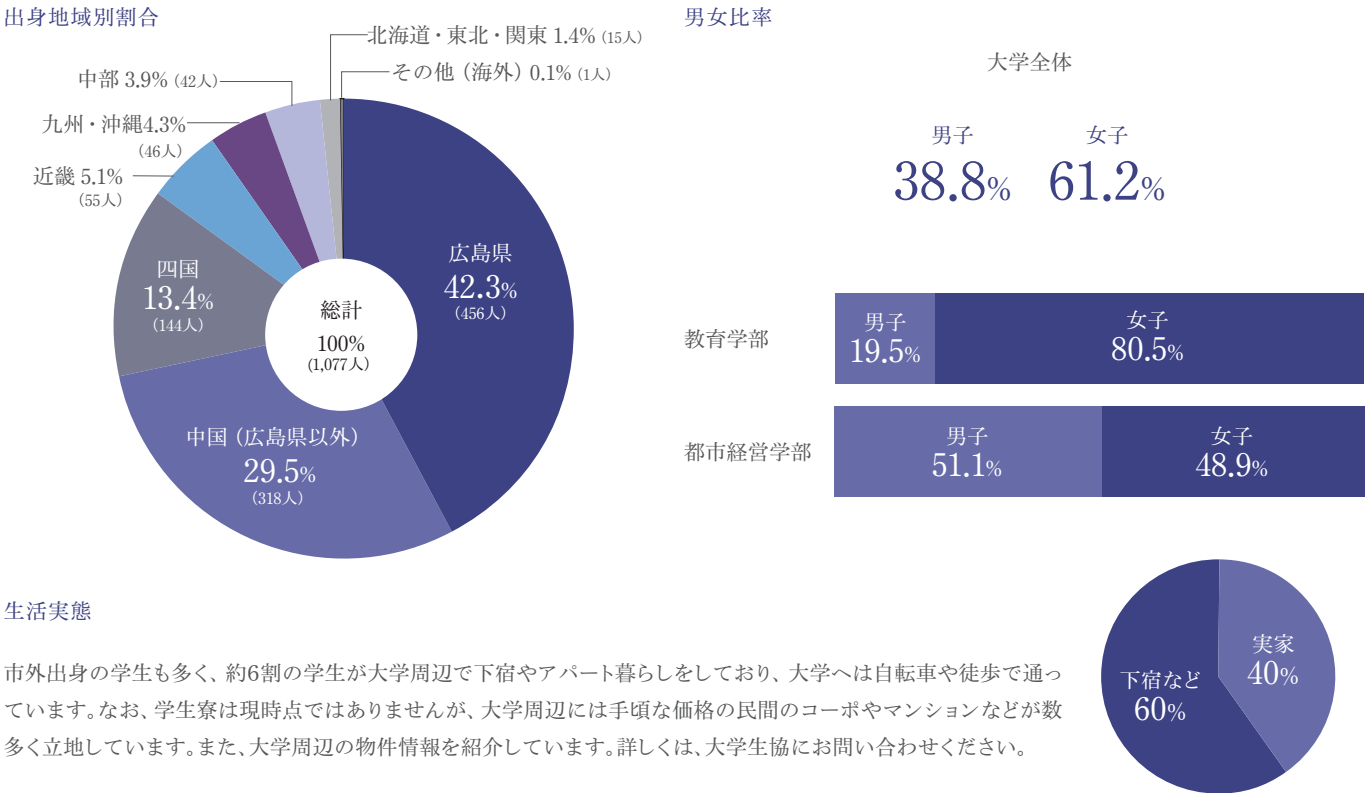
●福山駅北口乗り場
青ルート(約14分)「リーデンローズ入口」下車(徒歩10分)

お問い合わせ先(福山市立大学事務局総務課)

〒721-0964 広島県福山市港町二丁目19番1号
TEL：084-999-1112 FAX：084-928-1248 E-Mail：info@fcu.ac.jp

在学生情報・学費・奨学金

在学生情報(2026年5月1日時点)



出身校

■北海道
札幌南、北見北斗、帯広柏葉、クラーク記念国際

■宮城県
宮城野、気仙沼

■秋田県
本荘

■山形県
米沢興譲館

■栃木県
宇都宮東、大田原女子、宇都宮北、作新学院

■群馬県
前橋南、R

■埼玉県
春日部女子、川口北

■東京都
多摩大学附属聖ヶ丘

■新潟県
三条、柏崎翔洋

■富山県
魚津、高岡南、南砺福野

■石川県
金沢桜丘、金沢西、小松明峰、金沢

■福井県
若狭

■山梨県
日本航空

■長野県
長野西、上田染谷丘、松本蟻ヶ崎

■岐阜県
岐山、大垣南、関、斐太、各務原西

■静岡県
藤枝東、掛川西、浜松南、浜名、静岡市立、伊豆中央、富士宮西、静岡学園、磐田東、聖隷クリストファー

■愛知県
国府、小坂井、西春、高蔵寺、豊田南、岡崎西、新城有教館、桜丘、栄徳

■三重県
桑名、桑名西、津西、伊勢、上野

■滋賀県
東大津

■京都府
嵯峨野、宮津天橋、京都先端科学大学附属

■大阪府
箕面、堺東、箕面自由学園、帝塚山学院泉ヶ丘

■兵庫県
伊丹北、柏原、明石西、加古川西、社、北条、姫路東、姫路南、姫路別所、龍野、赤穂、山崎、千種、洲本、相生、東播磨、姫路、師磨、網干、姫路葛西、北摂三田、三田祥雲館、第一学院養父校

■奈良県
天理

■和歌山県
向陽、星林、耐久、日高、田辺、近畿大学附属和歌山

■鳥取県
鳥取東、鳥取西、倉吉東、倉吉西、米子東、米子西、米子松蔭

■島根県
松江北、松江南、大東、三刀屋、平田、出雲、大杜、大田、浜田、松江東

■香川県
高松東、坂出、善通寺第一、観音寺第一、高松第一、高松西、高松北、香川中央、高松桜井、三木、小豆島中央、大手前高松、香川誠陵

■岡山県
岡山朝日、岡山操山、岡山芳泉、岡山工業、岡山東商業、倉敷青陵、倉敷天城、倉敷南、倉敷中央、津山、津山東、玉野、玉島（県立）、笠岡、西大寺、井原、総社、高梁、新見、興陽、矢掛、勝山、岡山一宮、倉敷古城池、玉野光南、総社南、岡山城東、岡山後楽館、岡山大安寺、就実、明誠学院、創志学園、岡山龍谷、岡山学芸館、金光学園、岡山、鹿島朝日

■山口県
岩国、柳井、下松、徳山、防府、豊浦、下関南、野田学園

■愛媛県
三島、新居浜東、新居浜西、西条、小松、今治西、今治北、松山北、松山商業、大洲、八幡浜、宇和、野村、宇和島東、伊予、松山中央、松山西、宇和島南、済美

■広島県
広島大学附属福山、広島観音、広島国泰寺、広島皆実、広島商業（県立）、海田、廿日市、大柿、賀茂、五日市、安古市、広、呉宮原、呉三津田、尾道東、尾道北、三原、福山誠之館、福山葦陽、府中、油木、大門、福山明王台、庄原格致、三次、舟入、基町、呉、福山、高陽、熊野、広島井口、神辺旭、祇園北、安芸南、美鈴が丘、東、戸手、因島、広島（県立）、広島（市立）、修道、崇徳、山陽、安田女子、ノートルダム清心、広島国際学院、広島工業大学、武田、盈進、福山暁の星女子、近畿大学附属広島（福山校）、尾道、銀河学院、英数学館、如水館、近畿大学附属広島（東広島校）、呉青山、並木学院福山

■徳島県
城南、富岡西、鳴門、阿波、脇町、池田、徳島市立、徳島北、海部、城ノ内

■高知県
高知追手前、高知丸の内、高知西、中村

■福岡県
小倉南、香住丘、東福岡、福岡工業大学附属城東

■佐賀県
唐津東、佐賀清和

■長崎県
長崎南、長崎北、諫早、松浦、杵岐、長崎北陽台、西陵、純心女子、鎮西学院

■熊本県
済々黌、大津、八代、天草

■大分県
別府鶴見丘、大分舞鶴、大分鶴崎、佐伯鶴城、竹田、国東

■宮崎県
宮崎南

■鹿児島県
鶴丸、甲南、鹿児島中央、出水、国分、鹿屋、松陽、楠隼

■沖縄県
普天間、開邦、那覇国際、N

都道府県別出身者数

広島	岡山	愛媛	香川	島根	兵庫	徳島	静岡	鳥取	山口	大分	長崎	愛知	和歌山	高知	三重	鹿児島	熊本	岐阜	栃木
456	253	69	45	39	32	22	14	14	12	12	11	10	8	8	7	7	6	5	4
石川	大阪	北海道	富山	長野	京都	福岡	沖縄	宮城	埼玉	新潟	佐賀	宮崎	秋田	山形	群馬	東京	福井	滋賀	その他
4	4	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1

総計1,077人

学費

入学科	市内以外の者	423,000円	※福山市内の者とは、次のいずれかに該当する者をいいます。 ●入学の日の属する月の前年の同月初日から引き続き福山市の区域内に住所を有する者 ●入学の日の属する月の前年の同月初日から配偶者または1親等の親族が引き続き福山市の区域内に住所を有する者
	市内の者	253,800円	
授業料	年額	535,800円	

授業料または入学科の減免

- 学部
1.大学等における修学の支援に関する法律（以下「法」という。）に規定する基準を満たす者
2.法に規定する在留資格などを満たさない者で法の基準に準じる者
3.災害または疾病、倒産、失業その他急変的事情により収入が著しく減じた場合
- 研究科
1.生活保護法に規定する生活扶助を受けている場合
2.世帯全員の総所得金額などの合計額が一定の基準額以下の場合
3.災害等または疾病、倒産、失業その他急変的事情により収入が著しく減じた場合

授業料の徴収猶予

上記に準じる者または一時的に学費の納付が困難であると認められる場合

報奨制度

- 入学者選抜試験において、優秀な成績を修めた学生に対する制度(成績優秀者入学科減免制度)
特に成績優秀と認められる者を選考し、入学科を減免する制度です。
- 入学後の在学期間中において、一定の成績以上を修めた学生に対する制度（学生表彰制度）
学業、学術、研究、スポーツ・課外活動、社会文化活動の各分野で、在学中において優秀な成績を修め、または社会的に高い評価を受け、ほかの学生の模範となるような学生を対象として表彰する制度です。

奨学金

本学では、日本学生支援機構奨学金を取り扱っています。その他、各地方公共団体（福山市奨学資金奨学生など）や各種法人などの奨学金貸付制度が利用できる場合がありますので、大学窓口、各出身地の教育委員会などで確認してください。

※詳細についてはお問い合わせください。（福山市立大学事務局学務課 TEL：084-999-1113）

（順不同）

入学者受入方針／入学者選抜情報

※ 情報工学部に関する内容は掲載されていません。
情報工学部については、別冊の情報工学部 学部案内2027
及び本学ホームページをご覧ください。

入学者受入方針(アドミッションポリシー)

幅広い視野と豊かな人間性を備え持続可能な地域社会の実現を目指して自ら課題を発見し、創造的に解決することができる実践力のある人材を育成する、という福山市立大学教育目標に基づき、各学部では次の通り、入学者の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を掲げています。

教育学部

幅広い教養と豊かな人間性を備え、地域の未来を担う子どもの乳児期から児童期までの発達・成長を総合的に捉え、一人ひとりの子どもを尊重した指導・支援ができる実践的指導力を備えた教育者・保育者を育成することを目標としています。このため教育学部では、次の方針のもとに入学者を受け入れていきます。

求める学生像

- 教育者や保育者を目指す強い意志と熱意をもち、そのために必要な基礎的な学力を備え、自らの人間性や力量を高めていく意欲のある人
- 子どもたちの成長や発達に関わることに使命感をもち、子どもたちの未来のために働くことにやりがいや生きがいを感じることの出来る人
- 子育てに関わる地域の多様な人々とのコミュニケーションを図り、地域の人々と連携し協力しながら教育・保育現場の課題に熱意をもって取り組んでいくことの出来る人

都市経営学部

都市の計画・デザイン、都市の経済・経営、都市における共生・開発についての総合的な知識や素養を備え、幅広い視野と柔軟な思考力、国際感覚や豊かなコミュニケーション能力をもって、持続可能な社会の構築に向けた企業の活性化や地域社会の再生などの課題に創造的に寄与出来る人材を育成することを目的としています。このため都市経営学部では、次の方針のもとに入学者を受け入れていきます。

求める学生像

- 社会の変化や世界の動きに関心があり、地域社会の課題やあり方に幅広い関心と興味をもって、専門的・実践的な力量を高めていく意欲のある人
- 地域社会や人々の暮らしに関わることに使命感をもち、地域社会の向上や活性化のために働くことにやりがいや生きがいを感じることの出来る人
- 地域づくりやまちづくりに関わる人々とのコミュニケーションを図り、地域の人々と連携しながら地域の課題に熱意をもって取り組んでいくことの出来る人

2027年度(令和9年度) 入学者選抜情報

選抜区分〔定員〕		大学入学共通テスト利用教科	個別学力試験など
一般選抜	教育学部（児童教育学科） ●教育コース〔40人〕 ●保育コース〔40人〕 前期後期	国語 地理歴史・公民(※1) 数学(※3) 理科(※2) 英語(リスニング含む) 情報	総合問題
	都市経営学部（都市経営学科） ●〔95人〕 前期後期	国語 地理歴史・公民(※1) 数学(※3) 理科(※2) 英語(リスニング含む) 情報	総合問題
型学 選校 抜推 薦	教育学部（児童教育学科） ●教育コース〔地域枠3人/全国枠7人〕 ●保育コース〔地域枠3人/全国枠7人〕	課さない	小論文
	都市経営学部（都市経営学科） ●〔地域枠5人/全国枠20人〕	課さない	基礎学力検査、 志望理由等に関する論述
社会人入試	〔若干名〕	課さない	小論文、面接
私費外国人留学生選抜	〔若干名〕	課さない	小論文、面接

備考

※1 地理歴史・公民は「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」「公共、倫理」「公共、政治・経済」

「地理総合／歴史総合／公共」から1科目選択

※2 理科は「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目選択

※3 数学は「数学Ⅰ、数学A」「数学Ⅱ、数学B、数学C」から1科目選択

※教育学部児童教育学科はコースごとに募集を行います。社会人入試および私費外国人留学生選抜の募集人員は、一般選抜の募集人員の内数とします。

教育課程編成・実施方針／学位授与方針

※ 情報工学部に関する内容は掲載されていません。
情報工学部については、本学ホームページをご覧ください。

教育課程編成・実施方針(カリキュラムポリシー)

福山市立大学の教育課程は、大学の使命、教育研究の理念およびそれに基づく教育目標を達成するために、全学共通の共通教育科目と、学部ごとの専門教育科目の2つの枠組みにより構成されています。

共通教育

共通教育は、「教養科目」「リテラシー科目」「人間力科目」の3つの科目区分で構成されます。それらの配当科目の履修を通して、幅広い知識や考え方を教養として身に付けた人材の養成、ならびに自らの知的拠り所を探究しながら生涯に亘り現代社会の課題解決に取り組むことができる人材を養成することを目指します。

本学を構成するいずれの学部も「持続可能な社会の実現」に必要な学問に根差しています。その学問領域を探究するための学士教養として共通教育を位置付けます。

教育学部

専門教育科目は、教育・保育の原理、歴史、制度などとともに、子どもの発達についての幅広い知識と素養を養う科目、教育内容・保育内容についての幅広い知識や技能を習得し、教育・保育の内容や方法を自ら探究し工夫できる実践的指導力を養う科目、特別な支援を必要とする子どもの教育・保育に必要な知識や素養を養うとともに、家庭・地域・学校・施設などが連携した教育・保育活動を担える資質・能力を養う科目などで構成されます。

都市経営学部

専門教育科目は、学部基礎科目、基幹科目、展開科目、実習科目、専門演習、卒業研究の6つの科目区分で構成し、「環境」という課題を共通の基盤としつつ、《空間としての都市》の視点から都市社会の在り方を探究する「計画・デザイン」領域（工学系）、《活動としての都市》の視点から都市社会の在り方を探究する「経済・経営」領域（経済学系）、《繋がりとしての都市》の視点から都市社会の在り方を探究する「共生・開発」領域（社会学系）の3領域で体系的に編成されています。

学位授与方針(ディプロマポリシー)

福山市立大学は、大学の使命と教育研究の理念に基づき、持続可能な地域社会の発展に寄与する人材を育成することを目標としています。学士の学位は、学則に定める所定教育課程を修め、次に掲げる資質や能力を習得して本学を卒業する者に授与されます。

教育学部（児童教育学科・教育コースを卒業する者）

- 教職の意義、教育の原理・制度・歴史などへの深い理解、今日の初等教育の課題についての幅広い理解、教員としての高い使命感や責任感
- 小学校段階の児童の成長や発達についての学問的理解、発達段階に応じた適切な指導を行える実践的力量
- 教科内容についての幅広い深い理解、指導法についての専門的知識や技能、豊かな学力形成を担える高い授業実践力
- 確かな小学校段階の児童理解、豊かな対人関係能力、適切な生徒指導や学級経営が出来る指導力
- 就学前と就学後の児童の成長や発達を連続的・一体的に捉えていくために必要な乳幼児段階の児童の成長や発達及び乳幼児保育や幼児教育についての知識や素養
- 一人ひとりの児童のニーズに応じた指導・支援に必要な特別支援教育についての知識や素養
- 児童の育ちの環境である家庭や地域との連携・協働についての知識や素養
- 教育実践において、判断、行動する拠りどころとなる生涯活用できる思考の軸を持ち、多様な人々と協働し、主体的に専門的実践家として自己研鑽していくための意欲と知識や素養

教育学部（児童教育学科・保育コースを卒業する者）

- 保育の本質や目的、歴史や制度などへの深い理解、今日の保育の課題についての幅広い理解、保育者としての高い使命感や責任感
- 乳幼児の成長や発達についての学問的理解、発育段階に応じた適切な保育活動を行える能力や技能
- 保育5領域についての深い内容理解、保育方法についての高い専門的知識や技能、豊かな成長・発達を支える高い保育実践力
- 確かな乳幼児理解、豊かな対人関係能力、適切な成長・発達の援助や学級経営が出来る指導力
- 就学前と就学後の児童の成長や発達を連続的・一体的に捉えていくために必要な小学校段階以降の児童の成長や発達及び初等教育についての知識や素養
- 一人ひとりの乳幼児のニーズに応じた保育に必要な障害児保育及び特別支援教育についての知識や素養
- 保護者などへの相談・助言及び児童の育ちの環境である家庭や地域との連携・協働についての知識や素養
- 保育実践において、判断、行動する拠りどころとなる生涯活用できる思考の軸を持ち、多様な人々と協働し、主体的に専門的実践家として自己研鑽していくための意欲と知識や素養

都市経営学部（都市経営学科を卒業する者）

- 都市の計画やデザイン、インフラや施設、建物や生活環境などについての理解とともに、都市の整備やまちづくりの課題を考察し探究していくための企画力や実践力
- 都市社会の経済や経営、行政や財政などについての理解とともに、持続可能な発展のための経営モデルや社会システムを考察し探究していくための構想力や実践力
- 住民自治による都市社会の在り方を構想し、多文化共生のまちづくりとともに、歴史・文化・自然・景観等を活かした地域づくりを考察し探究していくための企画力や実践力

2026年入学者選抜実施結果

選抜区分		募集区分		募集人員		志願者数		受験者数		合格者数		手続者数	
一般選抜	前期日程	教育学部	教育コース	35	70	106	187	90	168	43	85	38	79
			保育コース	35		81		78		42		41	
		都市経営学部		105		227		220		120		113	
	計		175		414		388		205		192		
	後期日程	教育学部	教育コース	5	10	162	303	48	89	5	10	3	8
			保育コース	5		141		41		5		5	
都市経営学部		30		296		90		39		32			
計		40		599		179		49		40			
学校推薦型選抜		教育学部	教育コース	10	20	37	88	37	88	10	20	10	20
			保育コース	10		51		51		10		10	
		都市経営学部		15		93		93		15		15	
		計		35		181		181		35		35	
社会人入試		教育学部	教育コース	若干名	若干名	1	1	1	1	1	1	1	1
			保育コース	若干名		0		0		0		0	
		都市経営学部		若干名		0		0		0		0	
		計		若干名		1		1		1		1	
私費外国人留学生選抜		教育学部	教育コース	若干名	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0
			保育コース	若干名		0		0		0		0	
		都市経営学部		若干名		1		1		0		0	
		計		若干名		1		1		0		0	
合計		教育学部	教育コース	50	100	306	579	176	346	59	116	52	108
			保育コース	50		273		170		57		56	
総計				250		1,196		750		290		268	

※追加合格の有無は公表していません。

※追加合格があった場合、合格者欄は追加合格者を含んだ人数です。

※現役・既卒の別は公表していません。



福山市立大学の校章は、2010年にGKデザイングループの故榮久庵憲司氏によりつぎの意図によって作成されました。

福山は瀬戸内海や山陽道を通じて様々な「知の交流」が行われてきた。

この校章は、そこに脈々と繋がる「知の歴史性」、

福山市立大学の使命である「知の伝達、知の創造、知の発信」を

「知」という漢字を用いて象徴したものである。

私たちの「知」の進展は、人間の進化を意味する。

福山市立大学 大学歌

2011年(平成23年)の開学から10年の節目を迎えるにあたり、本学のイメージを反映する大学歌を制定しました。

歌詞は全国からの公募で選ばれた江崎誠さんの作品をもとに、福山市出身のアーティスト、世良公則さんがアレンジされました。

そして、その歌詞に世良さんが「知は明日を開く」という本学のコンセプトを表現した旋律を合わせ、本学にふさわしい新しい感覚の大学歌が誕生しました。

今後、入学式や学位記授与式といった各種行事などで歌い継いでいくことになります。

この大学歌が在学生、ならびにこれから入学してくださる皆さんにとって、本学の一員であるという誇りと連帯感を高めるものになることを願っています。

ぜひ、共に歌っていきましょう。

大学案内の請求について

●福山市立大学のホームページから請求

本学のホームページから直接、**テレメール**または**DJC モバっち**による請求ができます。

詳しくは本学ホームページの「資料請求」をご覧ください。

<https://www.fcu.ac.jp/request/>

●福山市立大学へ直接請求

FAX・E-Mailなどで、本学に直接請求することができます。

送料・請求先・請求時の記載事項など詳細については、本学ホームページをご覧ください。

また、大学事務局の窓口で直接受け取ることも可能です。

●テレメールまたはモバっちで請求

テレメール QRコードにアクセスしガイダンスに従ってご請求ください。



請求用QRコード



DJC モバっち <https://djc-mb.jp/>にアクセスしガイダンスに従ってご請求ください。



請求用QRコード



※受付開始時期、送料などについては、業者や請求方法により異なる場合がありますので、詳細は各ホームページをご覧ください。

●入試に関するお問い合わせ

福山市立大学入学試験実施本部

TEL：084-999-1113（直通）

FAX：084-928-1248

E-Mail：nyushi@fcu.ac.jp

福山市立大学 大学歌

Road To The Future

作詞：江崎誠・世良公則

作曲：世良公則（原調：ハ長調）

Allegretto

mf

あしだー の野に 生まれ ひ と をはぐく み 瀬戸をー のぞむ入 り江にー ひ と を見お く
あつきー そのこ ころに しず か に 寄り そ い ま な びのー みちを ひ らいてー と も にあゆ ん

8

mp

る とき に あらしの日 も とき に おだやかな日 も かさねた知恵を かてに してー あ し たにーかがやきは
だ ときつ い のぼりざか も 果て のない く だりざか も

f

な て キャンパスは ま ち まなぶのは み ら い ほこりとき ぼ う になうのは わ れ ら

（歌詞1番のみ）